

化学療法計画書

治療法名		CyBorD (皮下注)																			
コース数		コース																			
腫瘍種		多発性骨髄腫																			
患者名		性別		年齢																	
患者ID		生年月日																			
部署		主治医		血液内科		Dr															
開始予定日																					
治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	・	・	11	・	・	15	・	・	・	・	・	・
	予定日	1/0			1/3				1/7			1/10			1/14						
ボルテゾミブ	1.3 mg/m ²	↓			↓				↓			↓			↓						
エンドキサン	300 mg/m ²	↓			↓				↓			↓			↓						
レナデックス	40 mg/body	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
治療内容	Day	22			25				29	・	・	32	・	・	36	・	・	・	・	・	・
	予定日	1/21			1/28				1/28			1/28			1/28						
エンドキサン	300 mg/m ²	↓																			
治療開始日			治療間隔		7週毎		予定		4コース												
身長	150 cm	体重		50 kg		BSA		1.40 m ²													
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA		49 mL/min																	

Day 1, 4, 8, 11

投与開始基準 ・ PS 0-2 ・ 好中球>1000 ・ Plt>10万 ・ Cr<3.5mg/dL ・ 間質性肺炎がない ・ 心機能正常 ・ 日常生活に支障のある神経毒性なし
減量基準 ・ G3以上の血液毒性 ・ G1-2の膀胱炎 エンドキサン ⇒ レベル-1 day1, 8, 15に ⇒ レベル-2 : day1, 8に ⇒ レベル-3 : day1のみ ・ G3-4の膀胱炎⇒判断 ・ G3の血小板減少 ・ G1の神経毒性 (疼痛伴う) ・ G2神経毒性 (日常生活支障なし) ボルテゾミブ ⇒ レベル-1 : 1.0mg/m ² ⇒ レベル-2 : 0.7mg/m ² ⇒ レベル-3 : day1, 8のみ ・ G2の筋力低下 ・ G3胃腸障害 ・ G3高血糖 ・ G3錯乱または気分変動 レナデックス ⇒ レベル-1 : 20mg ⇒ レベル-2 : 20mgをday1-4 ⇒ レベル-3 : 10mgをday1-4

1) 生理食塩液 1.2mLで溶解 皮下注
ボルテゾミブ 1.8mg

★2. 5mLのルアロックシリンジを用いる
 ★必要なボルテゾミブを抜いた後26Gの針に変える (薬剤部)
 (針先まで薬液を満たし患者に投与できる状況に整える)
★現場では薬剤部から届いたものをそのまま投与
 (エア抜き不要)

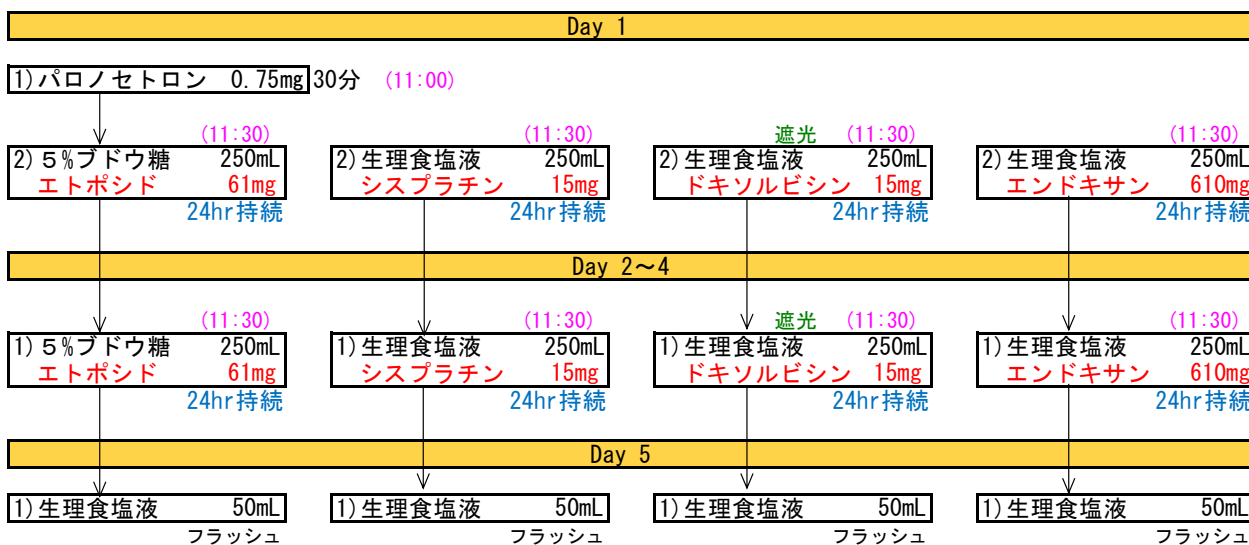
エンドキサン錠 (day1, 8, 15, 22)
 レナデックス錠 (4mg)
 (day1-4 day9-12 day17-20)

化学療法計画書

治療法名	D(T)-PACE		
コース数	1	コース	
腫瘍種	多発性骨髄腫		
患者名		♂	年齢
患者ID		生年月日	
部署	1-7	主治医	血液内科 Dr
開始予定日	2020年1月1日		
治療内容	Day	1 2 3 4 5 6 7
	予定日	1/1	
エトポシド	40 mg/m ²	↓↓↓↓	
エンドキサン	400 mg/m ²	↓↓↓↓	
シスプラチン	10 mg/m ²	↓↓↓↓	
ドキシソルビシン	10 mg/m ²	↓↓↓↓	
レナデックス	40 mg/body	→→→→	
パロノセトロン	0.75 mg	↓	
治療開始日	2015年12月31日	治療間隔	4~6週毎
		予定コース	2~4 コース
身長	150 cm	体重	60 kg
		BSA	1.52 m ²
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	53 mL/min

減量基準	
・ DXR T-Bil : >3 → 50%減	・ CY T-Bil : >3 → 25%減
・ ETOP T-Bil : 1.5~3	Ccr : <30 → 25%減
or AST : >3 × ULN → 50%減	Ccr : <10 → 50%減
T-Bil : >3 → 中止	・ CDDP eGFR : 50~10 → 25%減
Ccr : 50~10 → 25%減	eGFR : <10 → 50%減
Ccr : <10 → 50%減	Ccr : 50~10 → 25%減

- ★ダブルルーメン使用
- ★サレドは主治医判断で追加
- ★アプレピタントはオプションで追加



化学療法計画書

治療法名	DBd													
コース数	コース (1~3コース目)													
腫瘍種	多発性骨髄腫													
患者名				♂	年齢									
患者ID				生年月日										
開始予定日	2020年1月1日			部署	主治医 血液内科 Dr									
治療内容	Day	1	2	3	4	...	8	...	11	...	15	...	22	...
	予定日	1/1			1/4		1/8		1/11		1/15		1/22	
ダラキューロ	1800mg (15mL)	↓					↓				↓			
ボルテゾミブ	1.3 mg/m ²				↓				↓				↓	
レナデックス	20 mg/body	↓	↓		↓	↓	↓		↓	↓			↓	↓
レナデックス	20 mg										↓			
レスタミン	5 錠	↓					↓				↓		↓	
カロナル	1000 mg	↓					↓				↓		↓	
治療開始日	年 月 日				治療間隔	3週間			予定コース	コース				
身長	150 cm	体重	50 kg			BSA	1.40 m ²							
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	49 mL/min											

デキサメタゾンは76歳以上は 減量考慮

投与開始基準	
<ul style="list-style-type: none"> ・ PS 0-2 ・ 好中球>1,000 ・ Plt>75,000 ・ T-Bil<1.5xULN ・ 間質性肺炎がない ・ 心機能正常 ・ 日常生活に支障のある神経毒性なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1レジメン以上の治療歴あり ・ Hb>8.0 ・ AST/ALT<2.5xULN ・ Cr<1.5xULN
減量基準 (ボルテゾミブ)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ G3以上の非血液毒性 ・ G4の血液毒性 →G2以下に回復まで休薬し1レベル減 ・ 神経毒性については <ul style="list-style-type: none"> 疼痛を伴うG1、G2(日常生活支障なし) →1レベル減 G2/3 (日常生活支障あり) →回復まで休薬し回復すれば 0.7mg/m²週1回で再開 G4 →投与中止 	
副作用発現時の投与量	減量の目安
1.3mg/m ²	1.0mg/m ²
1.0mg/m ²	0.7mg/m ²
0.7mg/m ²	投与中止

infusion reactionに注意	
(体温・血圧・脈拍のモニター)	
Infusion reactionが生じたときは	
ダラキューロを一旦止めて医師に報告	
(軽度 ~中等度) 悪寒、発熱、発疹、頭痛等	
(重篤) 呼吸困難、全身の蕁麻疹、低血圧等	

★infusion reactionに注意★

Day 1, 8

ダラキューロ開始 60分前にレナデックス(4)5錠と
レスタミン(10)5錠、カロナル(200)5錠 内服

↓

1) **ダラキューロ 1800mg (15mL)** 皮下注
臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に
15秒に1mLの速度でゆっくり注入

2) 生理食塩液1.2mLで溶解
ボルテゾミブ 1.8mg 皮下注

Day 4, 11

1) 生理食塩液1.2mLで溶解
ボルテゾミブ 1.8mg 皮下注

★infusion reactionに注意★

Day 15

ダラキューロ 開始60分前にレナデックス(4)5錠と
レスタミン(10)5錠、カロナル(200)5錠 内服

↓

1) **ダラキューロ 1800mg (15mL)** 皮下注
臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に
15秒に1mLの速度でゆっくり注入

Day 2, 4, 5, 9, 11, 12

レナデックス20mg (朝) 内服

化学療法計画書

治療法名		DBd															
コース数		コース (4~8コース目)															
腫瘍種		多発性骨髄腫															
患者名				♂		年齢											
患者ID				生年月日													
開始予定日		2020年1月1日		部署		主治医 血液内科 Dr											
治療内容		Day	1	2	3	4	...	8	...	11	...	15	...	22	...		
		予定日	1/1			1/4		1/8		1/11				1/22			
ダラキューロ		1800mg (15mL)	↓			↓		↓		↓				↓			
ボルテゾミブ		1.3 mg/m ²	↓			↓		↓		↓				↓			
レナデックス		20 mg/body	↓ ↓			↓ ↓		↓ ↓		↓ ↓				↓ ↓			
レスタミン		5錠	↓											↓			
カロナル		1000 mg	↓											↓			
治療開始日		年 月 日				治療間隔			3週間			予定コース			コース		
身長		150 cm	体重			50 kg			BSA			1.40 m ²					
eGFR		60 mL/min	eGFR/BSA			49 mL/min											

デキサメタゾンは76歳以上は 減量考慮

減量基準 (ボルテゾミブ)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ G4血液毒性 FN→休薬 ・ G2以下に回復 <ul style="list-style-type: none"> ・ 好中球：同一用量で 再発すれば減量 ・ 血小板：減量 ・ 神経毒性については <ul style="list-style-type: none"> G2→1レベル減 G3→2レベル減で開始 (G1に回復後) 	
副作用発現時の投与量	減量の目安
1.3mg/m ²	1.0mg/m ²
1.0mg/m ²	0.7mg/m ²
0.7mg/m ²	投与中止

infusion reactionに注意 (体温・血圧・脈拍のモニター) Infusion reactionが生じたときは ダラキューロを一旦止めて医師に報告 (軽度 ~中等度) 悪寒、発熱、発疹、頭痛等 (重篤) 呼吸困難、全身の蕁麻疹、低血圧等

★infusion reactionに注意★

Day 1
ダラキューロ開始 60分前にレナデックス (4) 5錠と レスタミン (10) 5錠、カロナル (200) 5錠 内服 ↓ 1) ダラキューロ 1800mg (15mL) 皮下注 臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に 15秒に1mLの速度でゆっくり注入
2) 生理食塩液1.2mLで溶解 ボルテゾミブ 1.8mg 皮下注
Day 4, 8, 11
1) 生理食塩液1.2mLで溶解 ボルテゾミブ 1.8mg 皮下注
Day 2, 4, 5, 8, 9, 11, 12
レナデックス20mg (朝) 内服

化学療法計画書

治療法名		DBd	
コース数		コース (9コース目以降)	
腫瘍種		多発性骨髄腫	
患者名		♂	年齢
患者ID		生年月日	
部署		主治医	血液内科 Dr
開始予定日		2020年1月1日	
治療内容	Day	1 2 3 4 8 15 22	
	予定日	1/1	1/22
ダラキューロ	1800mg (15mL)	↓	↓
レナデックス	20 mg	↓	↓
レスタミン	5 錠	↓	↓
カロナール	1000 mg	↓	↓
治療開始日	年 月 日	治療間隔	3週間 予定コース
身長	150 cm	体重	50 kg BSA 1.40 m2
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	49 mL/min

infusion reactionに注意
 (体温・血圧・脈拍のモニター)
 Infusion reactionが生じたときは
 ダラキューロを一旦止めて医師に報告
 (軽度 ~中等度) 悪寒、発熱、発疹、頭痛等
 (重篤) 呼吸困難、全身の蕁麻疹、低血圧等

★infusion reactionに注意★
 Day 1
 ダラキューロ開始 60分前にレナデックス(4)5錠と
 レスタミン(10)5錠、カロナール(200)5錠 内服
 ↓
 1) **ダラキューロ 1800mg (15mL)** 皮下注
 臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に
 15秒に1mLの速度でゆっくり注入

化学療法計画書

治療法名	DLd (未治療)		
コース数		コース	(1・2コース目)
腫瘍種	多発性骨髄腫		
患者名		♂	年齢
患者ID		生年月日	
部署		主治医	血液内科 Dr

開始予定日

2020年1月1日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	...	15	...	22	...	29	...
	予定日	1/1							1/8		1/15		1/22		1/29	
ダラキューロ	1800mg (15mL)	↓							↓		↓		↓		↓	
レブラミド	25 mg/body	→														
レナデックス	40 mg/body	↓							↓		↓		↓		↓	
レスタミン	5 錠	↓							↓		↓		↓		↓	
カロナル	1000 mg	↓							↓		↓		↓		↓	
治療開始日	年 月 日				治療間隔	4週間			予定コース	コース						
身長	150 cm	体重	50 kg			BSA	1.40 m2									
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	49 mL/min													

レブラミドは day1-21(夕) 内服

デキサメタゾン76歳以上は 減量考慮
投与開始基準
・ PS 0-2
・ Ccr > 30

infusion reactionに注意
(体温・血圧・脈拍のモニター)
Infusion reactionが生じたときは
ダラキューロを一旦止めて医師に報告
(軽度 ~ 中等度) 悪寒、発熱、発疹、頭痛等
(重篤) 呼吸困難、全身の蕁麻疹、低血圧等

★infusion reactionに注意★

Day 1, 8, 15, 22

ダラキューロ 開始60分前にレナデックス(4)10錠と
レスタミン(10)5錠、カロナル(200)5錠内服

1) ダラキューロ 1800mg (15mL) 皮下注
臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に
15秒に1mLの速度でゆっくり注入

化学療法計画書

治療法名	DLd (未治療)		
コース数		コース	(3~6コース目)
腫瘍種	多発性骨髄腫		
患者名		♂	年齢
患者ID		生年月日	
部署		主治医	血液内科 Dr

開始予定日

2020年1月1日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	...	15	...	22	...	29	...
	予定日	1/1							1/8		1/15		1/22		1/29	
ダラキューロ	1800mg (15mL)	↓							↓		↓		↓		↓	
レブラミド	25 mg/body	→														
レナデックス	40 mg/body	↓						↓			↓		↓		↓	
レスタミン	5 錠	↓							↓		↓		↓		↓	
カロナル	1000 mg	↓							↓		↓		↓		↓	
治療開始日	年 月 日	治療間隔		4週間		予定コース		コース								
身長	150 cm	体重		50 kg		BSA		1.40 m2								
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA		49 mL/min												

レブラミドは day1-21(夕) 内服

デキサメタゾン76歳以上は 減量考慮
投与開始基準
・ PS 0-2
・ Ccr > 30

infusion reactionに注意
(体温・血圧・脈拍のモニター)
Infusion reactionが生じたときは
ダラキューロを一旦止めて医師に報告
(軽度 ~ 中等度) 悪寒、発熱、発疹、頭痛等
(重篤) 呼吸困難、全身の蕁麻疹、低血圧等

★infusion reactionに注意★

Day 1, 15

ダラキューロ 開始60分前にレナデックス(4)10錠と
レスタミン(10)5錠、カロナル(200)5錠内服

1) ダラキューロ 1800mg (15mL) 皮下注
臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に
15秒に1mLの速度でゆっくり注入

Day 8, 22

レナデックス40mg (朝) 内服

化学療法計画書

治療法名	DLd (未治療)		
コース数		コース	(7コース目以降)
腫瘍種	多発性骨髄腫		
患者名		♂	年齢
患者ID		生年月日	
部署		主治医	血液内科 Dr

開始予定日

2020年1月1日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	...	15	...	22	...	29	...
	予定日	1/1							1/8		1/15		1/22		1/29	
ダラキューロ 1800mg (15mL)		↓													↓	
レブラミド 25 mg/body		→														
レナデックス 40 mg/body		↓							↓		↓		↓		↓	
レスタミン 5錠		↓													↓	
カロナル 1000 mg		↓													↓	
治療開始日	年 月 日	治療間隔		4週間		予定コース		コース								
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.40 m2											
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	49 mL/min													

レブラミドは day1-21(夕) 内服

デキサメタゾン76歳以上は 減量考慮

投与開始基準

- ・ PS 0-2
- ・ Ccr > 30

infusion reactionに注意
(体温・血圧・脈拍のモニター)
Infusion reactionが生じたときは
ダラキューロを一旦止めて医師に報告
(軽度 ~ 中等度) 悪寒、発熱、発疹、頭痛等
(重篤) 呼吸困難、全身の蕁麻疹、低血圧等

★infusion reactionに注意★

Day 1

ダラキューロ 開始60分前にレナデックス(4)10錠と
レスタミン(10)5錠、カロナル(200)5錠内服

↓

1) ダラキューロ 1800mg (15mL) 皮下注
臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に
15秒に1mLの速度でゆっくり注入

Day 8, 15, 22

レナデックス40mg (朝) 内服

化学療法計画書

治療法名	DLd (再発・難治性)		
コース数		コース	(1・2コース目)
腫瘍種	多発性骨髄腫		
患者名		♂	年齢
患者ID		生年月日	
部署		主治医	血液内科 Dr

開始予定日

2020年1月1日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	...	15	...	22	...	29	...
	予定日	1/1							1/8		1/15		1/22		1/29	
ダラキューロ 1800mg (15mL)		↓							↓		↓		↓		↓	
レブラミド 25 mg/body		→														
レナデックス 20 mg/body		↓↓							↓↓		↓↓		↓↓		↓↓	
レスタミン 5錠		↓							↓		↓		↓		↓	
カロナル 1000 mg		↓							↓		↓		↓		↓	
治療開始日	年 月 日				治療間隔	4週間			予定コース	コース						
身長	150 cm	体重	50 kg		BSA	1.40 m ²										
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	49 mL/min													

レブラミドは day1-21(夕) 内服

デキサメタゾン76歳以上は 減量考慮
投与開始基準
・ PS 0-2
・ Ccr > 30

infusion reactionに注意
(体温・血圧・脈拍のモニター)
Infusion reactionが生じたときは
ダラキューロを一旦止めて医師に報告
(軽度 ~ 中等度) 悪寒、発熱、発疹、頭痛等
(重篤) 呼吸困難、全身の蕁麻疹、低血圧等

★infusion reactionに注意★

Day 1, 8, 15, 22

ダラキューロ 開始60分前にレナデックス(4)5錠と
レスタミン(10)5錠、カロナル(200)5錠内服

↓
1) **ダラキューロ 1800mg (15mL)** 皮下注
臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に
15秒に1mLの速度でゆっくり注入

Day 2, 9, 16, 23

レナデックス20mg (朝) 内服

化学療法計画書

治療法名		DLd (再発・難治性)					
コース数		コース (3~6コース目)					
腫瘍種		多発性骨髄腫					
患者名				♂		年齢	
患者ID				生年月日			
部署				主治医		血液内科 Dr	
開始予定日		2020年1月1日					
治療内容		Day		1 2 3 4 5 6 7 8 15 22 29			
予定日		1/1		1/8		1/15 1/22 1/29	
ダラキューロ 1800mg (15mL)		↓		↓		↓	
レブラミド 25 mg/body		→					
レナデックス 20 mg/body		↓↓		↓ (40mg)		↓ (40mg) ↓ ↓	
レスタミン 5錠		↓		↓		↓	
カロナル 1000 mg		↓		↓		↓	
治療開始日		年 月 日		治療間隔		4週間 予定コース コース	
身長 150 cm		体重 50 kg		BSA 1.40 m ²			
eGFR 60 mL/min		eGFR/BSA 49 mL/min					

レブラミドは day1-21(夕) 内服

デキサメタゾン76歳以上は 減量考慮

投与開始基準
 ・ PS 0-2
 ・ Ccr > 30

infusion reactionに注意
 (体温・血圧・脈拍のモニター)
 Infusion reactionが生じたときは
 ダラキューロを一旦止めて医師に報告
 (軽度 ~中等度) 悪寒、発熱、発疹、頭痛等
 (重篤) 呼吸困難、全身の蕁麻疹、低血圧等

★infusion reactionに注意★

Day 1, 15

ダラキューロ 開始60分前にレナデックス(4)5錠と
 レスタミン(10)5錠、カロナル(200)5錠内服

↓

1) ダラキューロ 1800mg (15mL) 皮下注

臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に
 15秒に1mLの速度でゆっくり注入

Day 2, 16

レナデックス20mg (朝) 内服

Day 8, 22

レナデックス40mg (朝) 内服

化学療法計画書

治療法名	DLd (再発・難治性)		
コース数		コース (7コース目以降)	
腫瘍種	多発性骨髄腫		
患者名		♂	年齢
患者ID		生年月日	
部署		主治医	血液内科 Dr

開始予定日

2020年1月1日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	15	22	29
予定日		1/1							1/8	1/15	1/22	1/29
ダラキューロ 1800mg (15mL)		↓										↓
レブラミド 25 mg/body		→										→
レナデックス 20 mg/body		↓↓							↓ (40mg)	↓ (40mg)	↓ (40mg)	↓↓
レスタミン 5錠		↓										↓
カロナル 1000 mg		↓										↓
治療開始日	年 月 日	治療間隔 4週間							予定コース	コース		
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.40 m2							
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	49 mL/min									

レブラミドは day1-21(夕) 内服

デキサメタゾン76歳以上は 減量考慮

投与開始基準
 ・ PS 0-2
 ・ Ccr > 30

infusion reactionに注意
 (体温・血圧・脈拍のモニター)
 Infusion reactionが生じたときは
 ダラキューロを一旦止めて医師に報告
 (軽度 ~中等度) 悪寒、発熱、発疹、頭痛等
 (重篤) 呼吸困難、全身の蕁麻疹、低血圧等

★infusion reactionに注意★

Day 1

ダラキューロ 開始60分前にレナデックス(4)5錠と
 レスタミン(10)5錠、カロナル(200)5錠内服

1) ダラキューロ 1800mg (15mL) 皮下注
 臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に
 15秒に1mLの速度でゆっくり注入

Day 2

レナデックス20mg (朝) 内服

Day 8, 15, 22

レナデックス40mg (朝) 内服

化学療法計画書

治療法名		DPd																									
コース数		コース (1・2コース目)																									
腫瘍種		多発性骨髄腫																									
患者名							♂		年齢																		
開始予定日		2020年1月1日					患者ID		生年月日																		
治療内容		Day		1		2		3		4		5		6		7		8		15		22		29		...	
予定日		1/1		1/8		1/15		1/22		1/29																	
ダラキューロ		1800mg (15mL)		↓		↓		↓		↓		↓		↓		↓		↓		↓		↓		↓		↓	
ポマリスト		4 mg/body		↓		↓		↓		↓		↓		↓		↓		↓		↓		↓		↓		↓	
レナデックス		20 mg/body		↓↓		↓↓		↓↓		↓↓		↓↓		↓↓		↓↓		↓↓		↓↓		↓↓		↓↓		↓↓	
レスタミン		5錠		↓		↓		↓		↓		↓		↓		↓		↓		↓		↓		↓		↓	
カロナル		1000 mg		↓		↓		↓		↓		↓		↓		↓		↓		↓		↓		↓		↓	
治療開始日		年 月 日		治療間隔		4週間		予定コース		コース																	
身長		150 cm		体重		50 kg		BSA		1.40 m ²																	
eGFR		60 mL/min		eGFR/BSA		49 mL/min																					

ポマリストは day1-21(夕) 内服

デキサメタゾン75歳以上は 減量考慮
投与開始基準
・ PS 0-2
・ Cr>30

infusion reactionに注意
(体温・血圧・脈拍のモニター)
Infusion reactionが生じたときは
ダラキューロを一旦止めて医師に報告
(軽度 ~中等度) 悪寒、発熱、発疹、頭痛等
(重篤) 呼吸困難、全身の蕁麻疹、低血圧等

★infusion reactionに注意★

Day 1, 8, 15, 22

ダラキューロ 開始60分前にレナデックス(4)5錠と
レスタミン(10)5錠、カロナル(200)5錠内服

1) ダラキューロ 1800mg (15mL) 皮下注
臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に
15秒に1mLの速度でゆっくり注入

Day 2, 9, 16, 23

レナデックス20mg (朝) 内服

化学療法計画書

治療法名		DPd	
コース数		コース (7コース目以降)	
腫瘍種	多発性骨髄腫		
患者名		♂	年齢
患者ID		生年月日	
開始予定日	2020年1月1日		
部署		主治医	血液内科 Dr
治療内容	Day	1 2 3 4 5 6 7 8 15 22 29	
	予定日	1/1 1/8 1/15 1/22 1/29	
ダラキューロ	1800mg (15mL)	↓	↓
ポマリスト	4 mg/body	→	
レナデックス	20 mg/body	↓ ↓	↓ (40mg) ↓ (40mg) ↓ (40mg) ↓ ↓
レスタミン	5 錠	↓	↓
カロナル	1000 mg	↓	↓
治療開始日	年 月 日	治療間隔	4週間 予定コース コース
身長	150 cm	体重	50 kg BSA 1.40 m2
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	49 mL/min

ポマリストは day1-21(夕) 内服

デキサメタゾン75歳以上は 減量考慮
投与開始基準
・ PS 0-2
・ Cr>30

infusion reactionに注意
(体温・血圧・脈拍のモニター)
Infusion reactionが生じたときは
ダラキューロを一旦止めて医師に報告
(軽度 ~中等度) 悪寒、発熱、発疹、頭痛等
(重篤) 呼吸困難、全身の蕁麻疹、低血圧等

★infusion reactionに注意★

Day 1

ダラキューロ 開始60分前にレナデックス(4)5錠と
レスタミン(10)5錠、カロナル(200)5錠内服

1) ダラキューロ 1800mg (15mL) 皮下注
臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に
15秒に1mLの速度でゆっくり注入

Day 2

レナデックス20mg (朝) 内服

Day 8, 15, 22

レナデックス40mg (朝) 内服

化学療法計画書

治療法名	DCd (75歳以下)													
コース数	1	コース												
腫瘍種	多発性骨髄腫													
患者名		♂	年齢											
患者ID		生年月日												
開始予定日	2020年1月1日													
部署		主治医	血液内科		Dr									
治療内容	Day	1	2	8	9	15	16	22	29
	予定日	1/1			1/8			1/15			1/22		1/29	
ダラキューロ	1800mg (15mL)	↓			↓			↓			↓		↓	
カイプロリス	20 mg/m ²	↓ ↓												
カイプロリス	56 mg/m ²				↓ ↓			↓ ↓					↓ ↓	
デキサート	20 mg	↓ ↓			↓ ↓			↓ ↓					↓ ↓	
レナデックス	40 mg/body										↓			
アセリオ	1000 mg	↓			↓			↓			↓ (カロナール 5錠)		↓	
ポララミン	1 A	↓			↓			↓			↓ (レスタミン 5錠)		↓	
治療開始日	年 月 日				治療間隔			4週毎			予定コース			コース
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.40 m ²									

デキサメタゾンは76歳以上は20mg/週 (半量)

★ infusion reactionに注意 ★

投与開始基準
・1レジメン以上の治療歴あり

カイプロリス休業基準
・G4の血小板減少、リンパ球減少、貧血
・G3以上の好中球減少
・G3以上の非血液毒性
(悪心・嘔吐、下痢、疲労感除く)

カイプロリス減量基準
ベースライン時に慢性肝機能障害(軽度、中等度)あり→初回、以降の用量を25%減量
56mg → 45mg → 36mg → 27mg → 20mg → 中止

Day 1

- 1) アセリオ 1000mg 15分
↓ 2) ポララミン1A 静注はアセリオとともに開始
- 3) 生理食塩液 50mL
デキサート6.6mg 3V 15分
- 4) 生理食塩液 50mL 30分
- 5) 5%ブドウ糖 50mL (50mL抜く)
カイプロリス 28mg 30分
- 6) 生理食塩液 50mL フラッシュ
- 7) **ダラキューロ 1800mg** 皮下注
臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に15秒に1mLの速度でゆっくり注入

Day 2

- 1) 生理食塩液 50mL
デキサート6.6mg 3V 15分
- 2) 生理食塩液 50mL 30分
- 3) 5%ブドウ糖 50mL (50mL抜く)
カイプロリス 28mg 30分
- 4) 生理食塩液 50mL フラッシュ

Day 8, 15

- 1) アセリオ 1000mg 15分
↓ 2) ポララミン1A 静注はアセリオとともに開始
- 3) 生理食塩液 50mL
デキサート6.6mg 3V 15分
- 4) 生理食塩液 50mL 30分
- 5) 5%ブドウ糖 50mL (50mL抜く)
カイプロリス 78mg 30分
- 6) 生理食塩液 50mL フラッシュ
- 7) **ダラキューロ 1800mg** 皮下注
臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に15秒に1mLの速度でゆっくり注入

Day 9, 16

- 1) 生理食塩液 50mL
デキサート6.6mg 3V 15分
- 2) 生理食塩液 50mL 30分
- 3) 5%ブドウ糖 50mL (50mL抜く)
カイプロリス 78mg 30分
- 4) 生理食塩液 50mL フラッシュ

Day 22

- 皮下注開始 60分前にレナデックス(4)10錠とレスタミン(10)5錠、カロナール(200)5錠内服
- 1) **ダラキューロ 1800mg** 皮下注
臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に15秒に1mLの速度でゆっくり注入

化学療法計画書

治療法名	DCd (76歳以上)													
コース数	1	コース												
腫瘍種	多発性骨髄腫													
患者名		♂	年齢											
患者ID		生年月日												
開始予定日	2020年1月1日													
部署		主治医	血液内科 Dr											
治療内容	Day	1	2	8	9	15	16	22	29
	予定日	1/1			1/8			1/15			1/22		1/29	
ダラキューロ	1800mg (15mL)	↓			↓			↓			↓		↓	
カイプロリス	20 mg/m2	↓ ↓												
カイプロリス	56 mg/m2				↓ ↓			↓ ↓					↓ ↓	
デキサート	20 mg	↓ ↓			↓			↓					↓	
レナデックス	20 mg/body										↓			
アセリオ	1000 mg	↓			↓			↓			↓ (カロナール 5錠)		↓	
ポラミン	1 A	↓			↓			↓			↓ (レスタミン 5錠)		↓	
デキサート	6.6 mg				↓			↓					↓	
治療開始日	年	月	日	治療間隔	4週毎			予定コース	コース					
身長	150	cm	体重	50	kg	BSA	1.40	m2						

デキサメタゾンは76歳以上は20mg/週 (半量)

★ infusion reactionに注意 ★

投与開始基準
・1レジメン以上の治療歴あり

カイプロリス休薬基準
・G4の血小板減少、リンパ球減少、貧血
・G3以上の好中球減少
・G3以上の非血液毒性
(悪心・嘔吐、下痢、疲労感除く)

カイプロリス減量基準
ベースライン時に慢性肝機能障害(軽度、中等度)あり→初回、以降の用量を25%減量
56mg → 45mg → 36mg → 27mg → 20mg → 中止

Day 1

- 1) アセリオ 1000mg 15分
↓
2) ポラミン1A 静注はアセリオとともに開始
- 3) 生理食塩液 50mL
デキサート6.6mg 3V 15分
↓
- 4) 生理食塩液 50mL 30分
↓
- 5) 5%ブドウ糖 50mL (50mL抜く)
カイプロリス 28mg 30分
↓
- 6) 生理食塩液 50mL フラッシュ

7) **ダラキューロ 1800mg** 皮下注
臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に15秒に1mLの速度でゆっくり注入

Day 2

- 1) 生理食塩液 50mL 15分
デキサート6.6mg 3V
↓
- 2) 生理食塩液 50mL 30分
↓
- 3) 5%ブドウ糖 50mL (50mL抜く)
カイプロリス 28mg 30分
↓
- 4) 生理食塩液 50mL フラッシュ

Day 8, 15

- 1) アセリオ 1000mg 15分
↓
2) ポラミン1A 静注はアセリオとともに開始
- 3) 生理食塩液 50mL
デキサート6.6mg 3V 15分
↓
- 4) 生理食塩液 50mL 30分
↓
- 5) 5%ブドウ糖 50mL (50mL抜く)
カイプロリス 78mg 30分
↓
- 6) 生理食塩液 50mL フラッシュ

7) **ダラキューロ 1800mg** 皮下注
臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に15秒に1mLの速度でゆっくり注入

Day 9, 16

- 1) 生理食塩液 50mL
デキサート6.6mg 1V 15分
↓
- 2) 生理食塩液 50mL 30分
↓
- 3) 5%ブドウ糖 50mL (50mL抜く)
カイプロリス 78mg 30分
↓
- 4) 生理食塩液 50mL フラッシュ

Day 22

皮下注開始 60分前にレナデックス(4)5錠とレスタミン(10)5錠、カロナール(200)5錠内服

1) **ダラキューロ 1800mg** 皮下注
臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に15秒に1mLの速度でゆっくり注入

化学療法計画書

治療法名	DCd (75歳以下)		
コース数	2	コース	
腫瘍種	多発性骨髄腫		
患者名		♂	年齢
患者ID		生年月日	
部署		主治医	血液内科 Dr

開始予定日

2020年1月1日

治療内容	Day	1	2	8	9	15	16	22	29
	予定日	1/1			1/8			1/15			1/22		1/29	
ダラキューロ	1800mg (15mL)	↓			↓			↓			↓		↓	
カイプロリス	56 mg/m ²	↓ ↓			↓ ↓			↓ ↓					↓ ↓	
デキサート	20 mg	↓ ↓			↓ ↓			↓ ↓					↓ ↓	
レナデックス	40 mg/body										↓			
アセリオ	1000 mg	↓			↓			↓			↓ (カナル 5錠)		↓	
ポララミン	1 A	↓			↓			↓			↓ (レスタミン 5錠)		↓	
治療開始日	年 月 日				治療間隔	4週毎			予定コース	コース				
身長	150 cm	体重	50 kg			BSA	1.40 m ²							

Day 1, 8, 15

- 1) アセリオ 1000mg 15分
↓
2) ポララミン1A 静注はアセリオとともに開始
- 3) 生理食塩液 50mL
↓
デキサート 6.6mg 3V 15分
- ↓
- 4) 生理食塩液 50mL 30分
- ↓
- 5) 5%ブドウ糖 50mL (50mL抜く)
↓
カイプロリス 78mg 30分
- ↓
- 6) 生理食塩液 50mL フラッシュ
- ↓
- 7) ダラキューロ 1800mg 皮下注
臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に15秒に1mLの速度でゆっくり注入

Day 2, 9, 16

- 1) 生理食塩液 50mL
↓
デキサート 6.6mg 3V 15分
- ↓
- 2) 生理食塩液 50mL 30分
- ↓
- 3) 5%ブドウ糖 50mL (50mL抜く)
↓
カイプロリス 78mg 30分
- ↓
- 4) 生理食塩液 50mL フラッシュ

Day 22

- 皮下注開始 60分前にレナデックス(4)10錠とレスタミン(10)5錠、カロナール(200)5錠内服
- ↓
- 1) ダラキューロ 1800mg 皮下注
臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に15秒に1mLの速度でゆっくり注入

デキサメタゾンは76歳以上は20mg/週 (半量)

★ infusion reactionに注意 ★

カイプロリス休薬基準
<ul style="list-style-type: none"> ・ G4の血小板減少、リンパ球減少、貧血 ・ G3以上の好中球減少 ・ G3以上の非血液毒性 (悪心・嘔吐、下痢、疲労感除く)

カイプロリス減量基準
ベースライン時に慢性肝機能障害(軽度、中等度)あり→初回、以降の用量を25%減量
56mg → 45mg → 36mg → 27mg → 20mg → 中止

化学療法計画書

治療法名	DCd (76歳以上)		
コース数	2	コース	
腫瘍種	多発性骨髄腫		
患者名		♂	年齢
患者ID		生年月日	
部署		主治医	血液内科 Dr

開始予定日

2020年1月1日

治療内容	Day	1	2	8	9	15	16	22	29
		予定日	1/1			1/8			1/15			1/22		1/29
ダラキューロ	1800mg (15mL)	↓			↓			↓			↓		↓	
カイプロリス	56 mg/m ²	↓ ↓			↓ ↓			↓ ↓					↓ ↓	
デキサート	20 mg	↓			↓			↓					↓	
レナデックス	20 mg/body										↓			
アセリオ	1000 mg	↓			↓			↓			↓ (カナル 5錠)		↓	
ポララミン	1 A	↓			↓			↓			↓ (レスタミン 5錠)		↓	
デキサート	6.6 mg	↓			↓			↓					↓	
治療開始日	年 月 日				治療間隔			4週毎			予定コース		コース	
身長	150 cm	体重			50 kg			BSA			1.40 m ²			

Day 1, 8, 15		
1) アセリオ	1000mg	15分
↓ 2) ポララミン1A 静注は アセリオとともに開始		
3) 生理食塩液	50mL	15分
デキサート 6.6mg	3V	15分
↓		
4) 生理食塩液	50mL	30分
↓		
5) 5%ブドウ糖	50mL (50mL抜く)	30分
カイプロリス	78mg	30分
↓		
6) 生理食塩液	50mL	フラッシュ
↓		
7) ダラキューロ 1800mg	皮下注	
臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に 15秒に1mLの速度でゆっくり注入		

Day 2, 9, 16		
1) 生理食塩液	50mL	15分
デキサート 6.6mg	1V	15分
↓		
2) 生理食塩液	50mL	30分
↓		
3) 5%ブドウ糖	50mL (50mL抜く)	30分
カイプロリス	78mg	30分
↓		
4) 生理食塩液	50mL	フラッシュ

Day 22	
皮下注開始 60分前にレナデックス(4)5錠と レスタミン(10)5錠、カロナール(200)5錠内服	
↓	
1) ダラキューロ 1800mg	皮下注
臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に 15秒に1mLの速度でゆっくり注入	

デキサメタゾンは76歳以上は20mg/週 (半量)

★ infusion reactionに注意 ★

カイプロリス休薬基準
・ G4の血小板減少、リンパ球減少、貧血
・ G3以上の好中球減少
・ G3以上の非血液毒性 (悪心・嘔吐、下痢、疲労感除く)

カイプロリス減量基準
ベースライン時に慢性肝機能障害(軽度、中等度)あり→初回、以降の用量を25%減量
56mg → 45mg → 36mg → 27mg → 20mg → 中止

化学療法計画書

治療法名	DCd (75歳以下)		
コース数		コース	(3~6コース目)
腫瘍種	多発性骨髄腫		
患者名		性別	♂ 年齢
患者ID		生年月日	
部署		主治医	血液内科 Dr

開始予定日	2020年1月1日		
治療内容	Day	1 2 8 9 15 16 22 29	予定日
			1/1 1/8 1/15 1/22 1/29
ダラキューロ	1800mg (15mL)	↓	↓
カイプロリス	56 mg/m ²	↓ ↓	↓ ↓ ↓ ↓
デキサート	20 mg	↓ ↓	↓ ↓ ↓ ↓
レナデックス	40 mg/body		↓
アセリオ	1000 mg	↓	↓
ポララミン	1 A	↓	↓
治療開始日	年 月 日	治療間隔	4週毎 予定コース
身長	150 cm	体重	50 kg BSA 1.40 m ² 1.40 m ² コース

Day 1, 15	
1) アセリオ 1000mg	15分
↓ 2) ポララミン1A 静注は アセリオとともに開始	
3) 生理食塩液 50mL デキサート6.6mg 3V	15分
↓	
4) 生理食塩液 50mL	30分
↓	
5) 5%ブドウ糖 50mL (50mL抜く) カイプロリス 78mg	30分
↓	
6) 生理食塩液 50mL	フラッシュ
↓	
7) ダラキューロ 1800mg	皮下注
臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に 15秒に1mLの速度でゆっくり注入	

Day 2, 8, 9, 16	
1) 生理食塩液 50mL デキサート6.6mg 3V	15分
↓	
2) 生理食塩液 50mL	30分
↓	
3) 5%ブドウ糖 50mL (50mL抜く) カイプロリス 78mg	30分
↓	
4) 生理食塩液 50mL	フラッシュ

Day 22	
レナデックス40mg(朝) 内服	

デキサメタゾン76歳以上は20mg/週 (半量)

★ infusion reactionに注意 ★

カイプロリス休業基準
<ul style="list-style-type: none"> ・ G4の血小板減少、リンパ球減少、貧血 ・ G3以上の好中球減少 ・ G3以上の非血液毒性 (悪心・嘔吐、下痢、疲労感除く)

カイプロリス減量基準
ベースライン時に慢性肝機能障害(軽度、中等度)あり→初回、以降の用量を25%減量
56mg → 45mg → 36mg → 27mg → 20mg → 中止

化学療法計画書

治療法名	DCd (76歳以上)		
コース数		コース	(3~6コース目)
腫瘍種	多発性骨髄腫		
患者名		性別	♂
患者ID		生年月日	
部署		主治医	血液内科 Dr

開始予定日

2020年1月1日

治療内容	Day	1	2	8	9	15	16	22	29
予定日		1/1			1/8			1/15			1/22		1/29	
ダラキューロ 1800mg (15mL)		↓						↓			↓		↓	
カイプロリス 56 mg/m ²		↓ ↓			↓ ↓			↓ ↓			↓ ↓		↓ ↓	
デキサート 20 mg		↓						↓			↓		↓	
デキサート 13.2 mg					↓									
デキサート 6.6 mg					↓									
レナデックス 20 mg/body											↓			
アセリオ 1000 mg		↓						↓					↓	
ポララミン 1 A		↓						↓					↓	
デキサート 6.6 mg		↓						↓					↓	
治療開始日	年 月 日				治療間隔	4週毎			予定コース	コース				
身長	150 cm	体重	50 kg			BSA	1.40 m ²							

Day 1, 15	
1) アセリオ 1000mg	15分
↓ 2) ポララミン1A 静注はアセリオとともに開始	
3) 生理食塩液 50mL	15分
デキサート6.6mg 3V	
↓	
4) 生理食塩液 50mL	30分
↓	
5) 5%ブドウ糖 50mL (50mL抜く)	30分
カイプロリス 78mg	
↓	
6) 生理食塩液 50mL	フラッシュ

7) **ダラキューロ 1800mg** 皮下注
臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に15秒に1mLの速度でゆっくり注入

デキサメタゾン76歳以上は20mg/週 (半量)

★ infusion reactionに注意 ★

カイプロリス休薬基準
・ G4の血小板減少、リンパ球減少、貧血
・ G3以上の好中球減少
・ G3以上の非血液毒性
(悪心・嘔吐、下痢、疲労感除く)

カイプロリス減量基準
ベースライン時に慢性肝機能障害(軽度、中等度)あり→初回、以降の用量を25%減量
56mg → 45mg → 36mg → 27mg → 20mg → 中止

Day 2, 16	
1) 生理食塩液 50mL	15分
デキサート6.6mg 1V	
↓	
2) 生理食塩液 50mL	30分
↓	
3) 5%ブドウ糖 50mL (50mL抜く)	30分
カイプロリス 78mg	
↓	
4) 生理食塩液 50mL	フラッシュ

Day 8	
1) 生理食塩液 50mL	15分
デキサート6.6mg 2V	
↓	
2) 生理食塩液 50mL	30分
↓	
3) 5%ブドウ糖 50mL (50mL抜く)	30分
カイプロリス 78mg	
↓	
4) 生理食塩液 50mL	フラッシュ

Day 9	
1) 生理食塩液 50mL	15分
デキサート6.6mg 1V	
↓	
2) 生理食塩液 50mL	30分
↓	
3) 5%ブドウ糖 50mL (50mL抜く)	30分
カイプロリス 78mg	
↓	
4) 生理食塩液 50mL	フラッシュ

Day 22	
レナデックス20mg(朝) 内服	

化学療法計画書

治療法名	DCd (75歳以下)		
コース数		コース	(7コース目以降)
腫瘍種	多発性骨髄腫		
患者名		性別	♂ 年齢
患者ID		生年月日	
部署		主治医	血液内科 Dr

開始予定日	2020年1月1日		
治療内容	Day	1 2 8 9 15 16 22 29	
	予定日	1/1 1/8 1/15 1/22 1/29	
ダラキューロ	1800mg (15mL)	↓	↓
カイプロリス	56 mg/m ²	↓ ↓	↓ ↓ ↓ ↓
デキサート	20 mg	↓ ↓	↓ ↓ ↓ ↓
レナデックス	40 mg/body		↓ ↓ ↓ ↓
アセリオ	1000 mg	↓	↓
ポララミン	1 A	↓	↓
治療開始日	年 月 日	治療間隔	4週毎 予定コース
身長	150 cm	体重	50 kg BSA 1.40 m ² 1.40 m ² コース

Day 1	
1) アセリオ 1000mg	15分
↓ 2) ポララミン1A 静注はアセリオとともに開始	
3) 生理食塩液 50mL デキサート6.6mg 3V	15分
↓	
4) 生理食塩液 50mL	30分
↓	
5) 5%ブドウ糖 50mL (50mL抜く) カイプロリス 78mg	30分
↓	
6) 生理食塩液 50mL	フラッシュ

Day 2, 8, 9, 15, 16	
1) 生理食塩液 50mL デキサート6.6mg 3V	15分
↓	
2) 生理食塩液 50mL	30分
↓	
3) 5%ブドウ糖 50mL (50mL抜く) カイプロリス 78mg	30分
↓	
4) 生理食塩液 50mL	フラッシュ

Day 22	
レナデックス40mg(朝) 内服	

7) **ダラキューロ 1800mg** 皮下注
 臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に
 15秒に1mLの速度でゆっくり注入

デキサメタゾンは76歳以上は20mg/週 (半量)

★ **infusion reaction**に注意 ★

カイプロリス休薬基準
<ul style="list-style-type: none"> ・ G4の血小板減少、リンパ球減少、貧血 ・ G3以上の好中球減少 ・ G3以上の非血液毒性 (悪心・嘔吐、下痢、疲労感除く)

カイプロリス減量基準
ベースライン時に慢性肝機能障害(軽度、中等度)あり→初回、以降の用量を25%減量
56mg → 45mg → 36mg → 27mg → 20mg → 中止

化学療法計画書

治療法名	DCd (76歳以上)		
コース数		コース	(7コース目以降)
腫瘍種	多発性骨髄腫		
患者名		♂	年齢
患者ID		生年月日	
部署		主治医	血液内科 Dr

開始予定日

2020年1月1日

治療内容	Day	1	2	8	9	15	16	22	29
予定日		1/1			1/8			1/15			1/22		1/29	
ダラキューロ 1800mg (15mL)		↓									↓			
カイプロリス 56 mg/m2		↓ ↓			↓ ↓			↓ ↓					↓ ↓	
デキサート 20 mg		↓											↓	
デキサート 13.2 mg					↓			↓						
デキサート 6.6 mg					↓			↓						
レナデックス 20 mg/body											↓			
アセリオ 1000 mg		↓											↓	
ポララミン 1 A		↓											↓	
デキサート 6.6 mg		↓											↓	
治療開始日	年 月 日				治療間隔	4週毎			予定コース	コース				
身長	150 cm	体重	50 kg			BSA	1.40 m2							

Day 1

- 1) アセリオ 1000mg 15分
↓
2) ポララミン1A 静注はアセリオとともに開始
- 3) 生理食塩液 50mL
デキサート6.6mg 3V 15分
- 4) 生理食塩液 50mL 30分
- 5) 5%ブドウ糖 50mL (50mL抜く)
カイプロリス 78mg 30分
- 6) 生理食塩液 50mL フラッシュ
- 7) **ダラキューロ 1800mg** 皮下注
臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に15秒に1mLの速度でゆっくり注入

デキサメタゾンは76歳以上は20mg/週 (半量)

★ infusion reactionに注意 ★

カイプロリス休薬基準

- ・ G4の血小板減少、リンパ球減少、貧血
- ・ G3以上の好中球減少
- ・ G3以上の非血液毒性 (悪心・嘔吐、下痢、疲労感除く)

カイプロリス減量基準

ベースライン時に慢性肝機能障害(軽度、中等度)あり→初回、以降の用量を25%減量
56mg → 45mg → 36mg → 27mg → 20mg → 中止

Day 2

- 1) 生理食塩液 50mL
デキサート6.6mg 1V 15分
- 2) 生理食塩液 50mL 30分
- 3) 5%ブドウ糖 50mL (50mL抜く)
カイプロリス 78mg 30分
- 4) 生理食塩液 50mL フラッシュ

Day 8, 15

- 1) 生理食塩液 50mL
デキサート6.6mg 2V 15分
- 2) 生理食塩液 50mL 30分
- 3) 5%ブドウ糖 50mL (50mL抜く)
カイプロリス 78mg 30分
- 4) 生理食塩液 50mL フラッシュ

Day 9, 16

- 1) 生理食塩液 50mL
デキサート6.6mg 1V 15分
- 2) 生理食塩液 50mL 30分
- 3) 5%ブドウ糖 50mL (50mL抜く)
カイプロリス 78mg 30分
- 4) 生理食塩液 50mL フラッシュ

Day 22

- レナデックス20mg(朝) 内服

化学療法計画書

治療法名		E-Pd													
コース数		コース (1, 2コース目)													
腫瘍種	多発性骨髄腫														
患者名				性別	年齢										
患者ID				生年月日											
部署				主治医	血液内科	Dr									
開始予定日															
治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	15	22	29
	予定日	1/0						1/7				1/14		1/21	
エムプリシティ	10 mg/kg	↓						↓				↓			
ポマリスト	4 mg/body	→													
レナデックス	28 mg/body	↓						↓				↓			
デキサート	6.6 mg	↓						↓				↓			
ファモチジン	20 mg	↓						↓				↓			
レスタミン	50 mg	↓						↓				↓			
カロナール	400 mg	↓						↓				↓			
治療開始日				治療間隔	4週毎	予定	コース								
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.40	m2									
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	49 mL/min												

ポマリストはday1-21 (タ) 内服

Day 1, 8, 15, 22

投与開始基準
 ・ PS 0-2
 ・ GCr>30

ポマリストの中止/減量
 G4 の血小板、好中球減少
 G2 になるまで休薬し1mg減量すること

infusion reactionに注意
 (体温・血圧・脈拍のモニター)
 infusion reactionが生じたときは
 エムプリシティを一旦止めて医師に報告
 (軽度～中等度) 悪寒、発熱、発疹、頭痛等
 (重篤) 呼吸困難、全身の蕁麻疹、低血圧等

エムプリシティの調製
 生理食塩液から50mL抜き
 エムプリシティを加える
 体重40kg未満の場合は
 生理食塩液の量が5mL/kgを
 超えないようにする

1) レナデックス錠28mg (7錠) を服用 **11時**
 (76歳以上は8mg (2錠))

インラインフィルターを使用

2) 生理食塩液 50mL 15分 **13時**
 デキサート 6.6mg
 ファモチジン 20mg

2) 開始と共にレスタミン(10) 5錠
 カロナール錠(200) 2錠 内服

3) 生理食塩液 100mL 60分 **13時15分**

4) 生理食塩液 200mL **14時15分～**
エムプリシティ 500mg 1コース目1回目

5) 生理食塩液 50mL

投与開始 0～30分→ 30mL/h
 投与開始30～60分→ 60mL/h
 投与開始60分以降→120mL/h

1コース目2回目
 投与開始 0～30分→180mL/h
 投与開始30分以降→240mL/h

1コース目3回以降
 投与開始→300mL/h

化学療法計画書

治療法名	E-Pd		
コース数		コース (3コース目以降)	
腫瘍種	多発性骨髄腫		
患者名		性別	年齢
患者ID		生年月日	
部署		主治医	血液内科 Dr
開始予定日			
治療内容	Day	1 2 3 4 5 6 7	8 15 22 29
	予定日	1/0	1/7 1/14 1/21
エムプリシティ	20 mg/kg	↓	
ポマリスト	4 mg/body	→	
レナデックス	40 mg/body	↓	↓
レナデックス	28 mg/body	↓	↓
デキサート	6.6 mg	↓	
ファモチジン	20 mg	↓	
レスタミン	50 mg	↓	
カロナル	400 mg	↓	
治療開始日		治療間隔	4週毎 予定 4コース
身長	150 cm	体重	50 kg BSA 1.40 m2
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	49 mL/min

Day 8, 15, 22
レナデックス40mg (朝) 内服 高齢者 (76歳以上は20mg)

ポマリストはday1-21 (夕) 内服

投与開始基準
・ PS 0-2
・ CCr>30

ポマリストの中止/減量
G4の血小板、好中球減少
G2になるまで休薬し1mg減量すること

infusion reactionに注意
(体温・血圧・脈拍のモニター)
infusion reactionが生じたときは
エムプリシティを一旦止めて医師に報告
(軽度～中等度)悪寒、発熱、発疹、頭痛等
(重篤)呼吸困難、全身の蕁麻疹、低血圧等

エムプリシティの調製
生理食塩液から50mL抜き
エムプリシティを加える
体重40kg未満の場合は
生理食塩液の量が5mL/kgを
超えないようにする

Day 1

1) レナデックス錠28mg (7錠) を服用 11時
(76歳以上は8mg (2錠))

インラインフィルターを使用

2) 生理食塩液	50mL	15分	13時
デキサート	6.6mg		
ファモチジン	20mg		

2) 開始と共にレスタミン(10) 5錠
カロナル錠(200) 2錠 内服

3) 生理食塩液	100mL	60分	13時15分
----------	-------	-----	--------

4) 生理食塩液	200mL		14時15分～
エムプリシティ	1000mg	3コース目	

5) 生理食塩液 50mL
投与開始 0～30分→180mL/h
投与開始30分以降→240mL/h
4コース目以降
投与開始→300mL/h

化学療法計画書

治療法名	E-Ld				
コース数	コース (1, 2コース目)				
腫瘍種	多発性骨髄腫				
患者名			性別	年齢	
患者ID			生年月日		
部署			主治医	血液内科	Dr

開始予定日															
治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	...	15	...	22	...	29
	予定日	1/0						1/7				1/14		1/21	
エムプリシティ	10 mg/kg	↓							↓						
レブラミド	25 mg/body	→ 夕食後													
レナデックス	28 mg/body	↓							↓						
デキサート	6.6 mg	↓							↓						
ファモチジン	20 mg	↓							↓						
レスタミン	50 mg	↓							↓						
カロナル	400 mg	↓							↓						
治療開始日			治療間隔		4週毎		予定		2コース						
身長	150 cm	体重		50 kg		BSA		1.40 m ²							
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA				49 mL/min									

レブラミドはday1-21 (夕) 内服

Day 1, 8, 15, 22

投与開始基準
<ul style="list-style-type: none"> ・ PS 0-2 ・ 1レジメン以上の治療歴あり ・ CCr>30 ・ レブラミドの前治療歴有りでも可

infusion reactionに注意
(体温・血圧・脈拍のモニター)
infusion reactionが生じたときは
エムプリシティを一旦止めて医師に報告
(軽度～中等度) 悪寒、発熱、発疹、頭痛等
(重篤) 呼吸困難、全身の蕁麻疹、低血圧等

- 1) レナデックス錠28mg (7錠) を服用 11時
- インラインフィルターを使用
- 2) 生理食塩液 50mL 15分 13時
 デキサート 6.6mg
 ファモチジン 20mg
 - 2) 開始と共にレスタミン(10) 5錠
 カロナル錠(200) 2錠 内服
- ↓
- 3) 生理食塩液 100mL 60分 13時15分
- ↓
- 4) 生理食塩液 200mL 14時15分～
 エムプリシティ 500mg 1コース目1回目
 投与開始 0～30分→ 30mL/h
 投与開始30～60分→ 60mL/h
 投与開始60分以降→120mL/h
- ↓
- 5) 生理食塩液 50mL 1コース目2回目
 投与開始 0～30分→180mL/h
 投与開始30分以降→240mL/h
- ↓
- 1コース目3回以降
 投与開始→300mL/h

エムプリシティの調製
生理食塩液から50mL抜き エムプリシティを加える 体重40kg未満の場合は 生理食塩液の量が5mL/kgを 超えないようにする

化学療法計画書

治療法名	E-Ld			
コース数		コース (3コース目以降)		
腫瘍種	多発性骨髄腫			
患者名		性別	年齢	
患者ID		生年月日		
部署		主治医	血液内科	Dr

開始予定日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	15	22	29
	予定日	1/0							1/7		1/14		1/21		
エムプリシティ	10 mg/kg	↓									↓				
レブラミド	25 mg/body														夕食後
レナデックス	40 mg/body								↓						↓
レナデックス	28 mg/body	↓									↓				
デキサート	6.6 mg	↓									↓				
ファモチジン	20 mg	↓									↓				
レスタミン	50 mg	↓									↓				
カロナル	400 mg	↓									↓				
治療開始日					治療間隔	4週毎	予定	4コース							
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.40 m2										
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	49 mL/min												

Day 8, 22
レナデックス40mg (朝) 内服

レブラミドはday1-21 (夕) 内服

投与開始基準
・ PS 0-2
・ 1レジメン以上の治療歴あり
・ CCr>30
・ レブラミドの前治療歴有りでも可

infusion reactionに注意
 (体温・血圧・脈拍のモニター)
 infusion reactionが生じたときは
 エムプリシティを一旦止めて医師に報告
 (軽度～中等度) 悪寒、発熱、発疹、頭痛等
 (重篤) 呼吸困難、全身の蕁麻疹、低血圧等

エムプリシティの調製
生理食塩液から50mL抜き
エムプリシティを加える
体重40kg未満の場合は
生理食塩液の量が5mL/kgを
超えないようにする

Day 1, 15

1) レナデックス錠28mg (7錠) を服用 11時

インラインフィルターを使用

2) 生理食塩液	50mL	15分	13時
デキサート	6.6mg		
ファモチジン	20mg		

2) 開始と共にレスタミン(10) 5錠
 カロナール錠(200) 2錠 内服

3) 生理食塩液	100mL	60分	13時15分
----------	-------	-----	--------

4) 生理食塩液	200mL		14時15分～
エムプリシティ	500mg	300mL/h	

5) 生理食塩液	50mL		
----------	------	--	--

化学療法計画書

治療法名	IsaKd		
コース数	1	コース	
腫瘍種	多発性骨髄腫		
患者名		♂	年齢
患者ID		生年月日	
部署		主治医	血液内科 Dr

開始予定日

2020年1月1日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	15	16	22	29	...	
	予定日	1/1							1/8				1/15			1/22		1/29	
サークリサ	10 mg/kg	↓							↓				↓			↓		↓	
カイプロリス	20 mg/m2	↓↓							↓↓				↓↓			↓↓		↓↓	
カイプロリス	56 mg/m2								↓↓				↓↓			↓↓		↓↓	
デキサート	20 mg	↓↓							↓↓				↓↓			↓↓		↓↓	
レナデックス	20 mg/body															↓			
アセリオ	1000 mg	↓							↓				↓			↓		↓	
ポラミン	1 A	↓							↓				↓			↓		↓	
ファモチジン	20 mg/A	↓							↓				↓			↓		↓	
治療開始日	年 月 日								治療間隔	4週間	予定コース								
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.40 m2														

サークリサ休薬基準
 ・G3又は4の好中球減少
 → G2に回復するまで休薬

フィルターを通す
Day 1
 1)アセリオ 1000mg 15分
 ↓
 2)ポラミン1A 静注はアセリオとともに開始
 ↓
 3)生理食塩液 50 mL
 ファモチジン 1A
 デキサート6.6mg 3V 15分
 ↓
 4)生理食塩液 50 mL 30分
 ↓
 5)生理食塩液 250 mL (総量250mL)
 サークリサ 500 mg 投与時間は下記参照
 ↓
 6)生理食塩液 50 mL フラッシュ
 ↓
 7)5%ブドウ糖 50 mL (50mL抜く)
 カイプロリス 28mg 30分
 ↓
 8)生理食塩液 50 mL フラッシュ

デキサート: 75歳以上は20mg/週に減量
Day 2
 1)生理食塩液 50 mL
 デキサート6.6mg 3V 15分
 ↓
 2)生理食塩液 50 mL 30分
 ↓
 3)5%ブドウ糖 50 mL (50mL抜く)
 カイプロリス 28mg 30分
 ↓
 4)生理食塩液 50 mL フラッシュ
Day 9, 16
 1)生理食塩液 50mL
 デキサート6.6mg 3V 15分
 ↓
 2)生理食塩液 50 mL 30分
 ↓
 3)5%ブドウ糖 50 mL (50mL抜く)
 カイプロリス 78mg 30分
 ↓
 4)生理食塩液 50 mL フラッシュ

フィルターを通す
Day 8, 15
 1)アセリオ 1000mg 15分
 ↓
 2)ポラミン1A 静注はアセリオとともに開始
 ↓
 3)生理食塩液 50 mL
 ファモチジン 1A
 デキサート6.6mg 3V 15分
 ↓
 4)生理食塩液 50 mL 30分
 ↓
 5)生理食塩液 250 mL (総量250mL)
 サークリサ 500 mg 投与時間は下記参照
 ↓
 6)生理食塩液 50 mL フラッシュ
 ↓
 7)5%ブドウ糖 50 mL (50mL抜く)
 カイプロリス 78mg 30分
 ↓
 8)生理食塩液 50 mL フラッシュ

フィルターを通す
Day 22
 1)アセリオ 1000mg 15分
 ↓
 2)ポラミン1A 静注はアセリオとともに開始
 ↓
 3)生理食塩液 50 mL
 ファモチジン 1A
 デキサート6.6mg 3V 15分
 ↓
 4)生理食塩液 50 mL 30分
 ↓
 5)生理食塩液 250 mL (総量250mL)
 サークリサ 500 mg 投与時間は下記参照
 ↓
 6)生理食塩液 50 mL フラッシュ

Day 23
 レナデックス20mg(朝) 内服

サークリサ 初回投与時

	60分	30分	30分	30分	30分	30分
	0~60分	60~90分	90~120分	120~150分	150~180分	180分~
流量	88 mL/h	113 mL/h	138 mL/h	163 mL/h	— mL/h	— mL/h
予定量	88 mL	144 mL	213 mL	250 mL	— mL	— mL

2回目以降

	60分	30分	30分	30分
	0~60分	60~90分	90~120分	120分~
流量	88 mL/h	138 mL/h	188 mL/h	— mL/h
予定量	88 mL	157 mL	250 mL	— mL

インフュージョンリアクション発現後の再開時

	30分	30分	30分	30分	30分	30分	30分
	0~30分	30~60分	60~90分	90~120分	120~150分	150~180分	180分~
流量	44 mL/h	69 mL/h	94 mL/h	119 mL/h	144 mL/h	169 mL/h	— mL/h
予定量	22 mL	56 mL	103 mL	162 mL	234 mL	250 mL	— mL

化学療法計画書

治療法名	IsaKd		
コース数		コース	(2コース目以降)
腫瘍種	多発性骨髄腫		
患者名		♂	年齢
患者ID		生年月日	
部署		主治医	血液内科 Dr

開始予定日

2020年1月1日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	15	16	22	29	...
	予定日	1/1							1/8			1/15			1/22			1/29
サークリサ	10 mg/kg	↓							↓			↓			↓			↓
カイプロリス	56 mg/m ²	↓↓							↓↓			↓↓			↓↓			↓↓
デキサート	20 mg	↓↓							↓↓			↓↓			↓↓			↓↓
レナデックス	20 mg/body														↓↓			↓↓
アセリオ	1000 mg	↓										↓						↓
ポララミン	1 A	↓										↓						↓
ファモチジン	20 mg/A	↓										↓						↓
治療開始日	年 月 日				治療間隔	4週間			予定コース	コース								
身長	150 cm	体重	50 kg			BSA	1.40 m ²											

サークリサ休薬基準
・G3又は4の好中球減少 → G2に回復するまで休薬

デキサート、レナデックス: 75歳以上は20mg/週に減量

フィルターを通す	
Day 1, 15	
1)アセリオ 1000mg	15分
↓ 2)ポララミン1A 静注は	
↓ アセリオとともに開始	
3)生理食塩液 50mL	
ファモチジン 1A	
デキサート6.6mg 3V	15分
↓	
4)生理食塩液 50mL	30分
↓	
5)生理食塩液 250mL (総量250mL)	投与時間は
サークリサ 500 mg	下記参照
↓	
6)生理食塩液 50mL	フラッシュ
↓	
7)5%ブドウ糖 50mL (50mL抜く)	
カイプロリス 78mg	30分
↓	
8)生理食塩液 50mL	フラッシュ

Day 2, 8, 9, 16	
1)生理食塩液 50mL	15分
デキサート6.6mg 3V	
↓	
2)生理食塩液 50mL	30分
↓	
3)5%ブドウ糖 50mL (50mL抜く)	
カイプロリス 78mg	30分
↓	
4)生理食塩液 50mL	フラッシュ

Day 22, 23
レナデックス20mg(朝) 内服

サークリサ 2コース目以降

	60分	30分	30分	30分~
	0~60分	60~90分	90~120分	120分~
流量	88 mL/h	138 mL/h	188 mL/h	— mL/h
予定量	88 mL	157 mL	250 mL	— mL

※ 最初の4回投与において infusion reactionが認められなかった場合は、以後の前投薬の必要性を再検討可能

インフュージョンリアクション発現後の再開時

	30分	30分	30分	30分	30分	30分	30分
	0~30分	30~60分	60~90分	90~120分	120~150分	150~180分	180分~
流量	44 mL/h	69 mL/h	94 mL/h	119 mL/h	144 mL/h	169 mL/h	— mL/h
予定量	22 mL	56 mL	103 mL	162 mL	234 mL	250 mL	— mL

化学療法計画書

治療法名	IsaPd		
コース数	1	コース	
腫瘍種	多発性骨髄腫		
患者名		♂	年齢
患者ID		生年月日	
部署		主治医	血液内科 Dr

開始予定日	2020年1月1日					
治療内容	Day	1 2 3 4 5 6 7 8 15 22 29	
	予定日	1/1	1/8	1/15	1/22	1/29
サークリサ	10 mg/kg	↓	↓	↓	↓	↓
ポマリスト	4 mg/body	→				↓
デキサート	40 mg	↓	↓	↓	↓	↓
アセリオ	1000 mg	↓	↓	↓	↓	↓
ポラミン	1 A	↓	↓	↓	↓	↓
ファモチジン	20 mg/A	↓	↓	↓	↓	↓
治療開始日	年 月 日	治療間隔		4週間	予定コース	コース
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.40 m ²	
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	49 mL/min			

デキサート: 75歳以上は20mg/週に減量

★infusion reactionに注意★

ポマリストはday1-21(夕)内服

フィルターを通す
Day 1, 8, 15, 22

投与開始基準
・PS 0-2
・1つ以上の標準的な治療が無効又は治療後の再発
・Ccr>30

1)アセリオ 1000 mg 15分
↓ 2)同時にポラミン1A 側注

サークリサ休薬基準
・G3又は4の好中球減少
→ G2に回復するまで休薬

3)生理食塩液 50 mL
ファモチジン 1 A
デキサート6.6mg 6 V 15分

ポマリストの中止/減量
・G3又は4の好中球減少
→ G2に回復するまで休薬し1mg減量

4)生理食塩液 50 mL 30分

5)生理食塩液 250 mL (総量250mL)
サークリサ 500 mg 投与時間は
下記参照

6)生理食塩液 50 mL フラッシュ

サークリサ 初回投与時

	60分	30分	30分	30分	30分	30分~
	0~60分	60~90分	90~120分	120~150分	150~180分	180分~
流量	88 mL/h	113 mL/h	138 mL/h	163 mL/h	— mL/h	— mL/h
予定量	88 mL	144 mL	213 mL	250 mL	— mL	— mL

2回目以降

	60分	30分	30分	30分~
	0~60分	60~90分	90~120分	120分~
流量	88 mL/h	138 mL/h	188 mL/h	— mL/h
予定量	88 mL	157 mL	250 mL	— mL

インフュージョンリアクション発現後の再開時

	30分	30分	30分	30分	30分	30分	30分
	0~30分	30~60分	60~90分	90~120分	120~150分	150~180分	180分~
流量	44 mL/h	69 mL/h	94 mL/h	119 mL/h	144 mL/h	169 mL/h	— mL/h
予定量	22 mL	56 mL	103 mL	162 mL	234 mL	250 mL	— mL

化学療法計画書

治療法名	IsaPd		
コース数		コース	(2コース目以降)
腫瘍種	多発性骨髄腫		
患者名		♂	年齢
患者ID		生年月日	
部署		主治医	血液内科 Dr

開始予定日

2020年1月1日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	15	22	29	...
	予定日	1/1							1/8		1/15		1/22		1/29	
サークリサ	10 mg/kg	↓									↓					↓
ポマリスト	4 mg/body	→														
デキサート	40 mg	↓									↓					↓
レナデックス	40 mg/body								↓				↓			
アセリオ	1000 mg	↓									↓					↓
ポララミン	1 A	↓									↓					↓
ファモチジン	20 mg/A	↓									↓					↓
治療開始日	年 月 日			治療間隔		4週間		予定コース				コース				
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.40 m ²											
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	49 mL/min													

ポマリストはday1-21(夕)内服

Day 8, 22

レナデックス40mg(朝)内服

投与開始基準

- ・PS 0-2
- ・1つ以上の標準的な治療が無効又は治療後の再発
- ・Ccr>30

サークリサ休薬基準

- ・G3又は4の好中球減少
→ G2に回復するまで休薬

ポマリストの中止/減量

- ・G3又は4の好中球減少
→ G2に回復するまで休薬し1mg減量

★infusion reactionに注意★

フィルターを通す

Day 1, 15

1)アセリオ 1000 mg 15分

↓ 2)同時にポララミン1A 側注

3)生理食塩液 50 mL
ファモチジン 1 A
デキサート6.6mg 6 V 15分

4)生理食塩液 50 mL 30分

5)生理食塩液 250 mL (総量250mL)
サークリサ 500 mg 投与時間は
下記参照

6)生理食塩液 50 mL フラッシュ

デキサート、レナデックス:75歳以上は20mg/週に減量

サークリサ 2回目以降

60分 → 30分 → 30分 → 30分~

	0~60分	60~90分	90~120分	120分~
流量	88 mL/h	138 mL/h	188 mL/h	— mL/h
予定量	88 mL	157 mL	250 mL	— mL

※ 最初の4回投与において
infusion reactionが認められな
かった場合は、以後の前投薬
の必要性を再検討可能

インフュージョンリアクション発現後の再開時

30分 → 30分 → 30分 → 30分 → 30分 → 30分 → 30分

	0~30分	30~60分	60~90分	90~120分	120~150分	150~180分	180分~
流量	44 mL/h	69 mL/h	94 mL/h	119 mL/h	144 mL/h	169 mL/h	— mL/h
予定量	22 mL	56 mL	103 mL	162 mL	234 mL	250 mL	— mL

化学療法計画書

治療法名	Isa+d		
コース数	1	コース	
腫瘍種	多発性骨髄腫		
患者名		♂	年齢
患者ID		生年月日	
部署		主治医	血液内科 Dr

開始予定日

2020年1月1日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	15	22	29	...
	予定日	1/1							1/8		1/15		1/22		1/29	
サークリサ	20 mg/kg	↓							↓		↓		↓		↓	
デキサート	40 mg	↓							↓		↓		↓		↓	
アセリオ	1000 mg	↓							↓		↓		↓		↓	
ポラミン	1 A	↓							↓		↓		↓		↓	
ファモチジン	20 mg/A	↓							↓		↓		↓		↓	
治療開始日	年 月 日				治療間隔	4週間			予定コース	コース						
身長	150 cm	体重	50 kg		BSA	1.40 m ²										
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	49 mL/min													

デキサート: 75歳以上は20mg/週に減量

投与開始基準
・PS 0-2
・1つ以上の標準的な治療が無効又は治療後の再発

サークリサ休薬基準
・G3又は4の好中球減少
→ G2に回復するまで休薬

★infusion reactionに注意★

フィルターを通す
Day 1, 8, 15, 22

1)アセリオ	1000 mg	15分
↓ 2)同時にポラミン1A 側注		
3)生理食塩液	50 mL	15分
ファモチジン	1 A	
デキサート	6.6mg	6 V
4)生理食塩液	50 mL	30分
5)生理食塩液	250 mL	(総量250mL) 投与時間は 下記参照 フラッシュ
サークリサ	1000 mg	
6)生理食塩液	50 mL	

サークリサ 初回投与時

	60分	30分	30分	30分	30分	30分~
	0~60分	60~90分	90~120分	120~150分	150~180分	180分~
流量	44 mL/h	56 mL/h	69 mL/h	81 mL/h	94 mL/h	100 mL/h
予定量	44 mL	72 mL	106 mL	146 mL	193 mL	250 mL

2回目以降

	60分	30分	30分	30分~
	0~60分	60~90分	90~120分	120分~
流量	44 mL/h	69 mL/h	94 mL/h	100 mL/h
予定量	44 mL	78 mL	125 mL	250 mL

インフュージョンリアクション発現後の再開時

	30分	30分	30分	30分	30分	30分	30分	30分~
	0~30分	30~60分	60~90分	90~120分	120~150分	150~180分	180~210分	210分~
流量	22 mL/h	34 mL/h	47 mL/h	59 mL/h	72 mL/h	84 mL/h	97 mL/h	100 mL/h
予定量	11 mL	28 mL	51 mL	80 mL	116 mL	158 mL	206 mL	250 mL

化学療法計画書

治療法名	Isa+d		
コース数		コース	(2コース目以降)
腫瘍種	多発性骨髄腫		
患者名		♂	年齢
患者ID		生年月日	
部署		主治医	血液内科 Dr

開始予定日

2020年1月1日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	15	22	29	...
	予定日	1/1							1/8		1/15		1/22		1/29	
サークリサ	20 mg/kg	↓									↓					↓
デキサート	40 mg	↓									↓					↓
レナデックス	40 mg/body								↓				↓			
アセリオ	1000 mg	↓									↓					↓
ポラミン	1 A	↓									↓					↓
ファモチジン	20 mg/A	↓									↓					↓
治療開始日	年 月 日				治療間隔	4週間			予定コース	コース						
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.40 m2											
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	49 mL/min													

デキサート、レナデックス: 75歳以上は20mg/週に減量

投与開始基準

- ・PS 0-2
- ・1つ以上の標準的な治療が無効又は治療後の再発

サークリサ休薬基準

- ・G3又は4の好中球減少
- G2に回復するまで休薬

Day 8, 22

レナデックス40mg(朝) 内服

★infusion reactionに注意★

フィルターを通す

Day 1, 15

1)アセリオ 1000 mg 15分

↓ 2)同時にポラミン1A 側注

3)生理食塩液 50 mL
ファモチジン 1 A
デキサート6.6mg 6 V 15分

4)生理食塩液 50 mL 30分

5)生理食塩液 250 mL (総量250mL)
サークリサ 1000 mg 投与時間は
下記参照

6)生理食塩液 50 mL フラッシュ

サークリサ 2コース目以降

60分 >> 30分 >> 30分 >> 30分~

	0~60分	60~90分	90~120分	120分~
流量	44 mL/h	69 mL/h	94 mL/h	100 mL/h
予定量	44 mL	78 mL	125 mL	250 mL

※ 最初の4回投与において infusion reactionが認められなかった場合は、以後の前投薬の必要性を再検討可能

インフュージョンリアクション発現後の再開時

30分 >> 30分 >> 30分 >> 30分 >> 30分 >> 30分 >> 30分 >> 30分~

	0~30分	30~60分	60~90分	90~120分	120~150分	150~180分	180~210分	210分~
流量	22 mL/h	34 mL/h	47 mL/h	59 mL/h	72 mL/h	84 mL/h	97 mL/h	100 mL/h
予定量	11 mL	28 mL	51 mL	80 mL	116 mL	158 mL	206 mL	250 mL

化学療法計画書

治療法名	Isa単剤		
コース数	1	コース	
腫瘍種	多発性骨髄腫		
患者名		♂	年齢
患者ID		生年月日	
部署		主治医	血液内科 Dr

開始予定日

2020年1月1日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	15	22	29	...
	予定日	1/1							1/8		1/15		1/22		1/29	
サークリサ	20 mg/kg	↓							↓		↓		↓		↓	
デキサート	6.6 mg	↓							↓		↓		↓		↓	
アセリオ	1000 mg	↓							↓		↓		↓		↓	
ポラミン	1 A	↓							↓		↓		↓		↓	
ファモチジン	20 mg/A	↓							↓		↓		↓		↓	
治療開始日	年 月 日				治療間隔	4週間			予定コース	コース						
身長	150 cm	体重	50 kg		BSA	1.40 m2										
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	49 mL/min													

★infusion reactionに注意★

フィルターを通す

Day 1, 8, 15, 22

- 1)アセリオ 1000 mg 15分
↓ 2)同時にポラミン1A 側注
- 3)生理食塩液 50 mL
ファモチジン 1 A
デキサート6.6mg 1 V 15分
↓
- 4)生理食塩液 50 mL 30分
↓
- 5)生理食塩液 250 mL (総量250mL)
サークリサ 1000 mg 投与時間は
下記参照
↓ フラッシュ
- 6)生理食塩液 50 mL

投与開始基準

- ・PS 0-2
- ・1つ以上の標準的な治療が無効又は治療後の再発

サークリサ休薬基準

- ・G3又は4の好中球減少
→ G2に回復するまで休薬

サークリサ 初回投与時

	60分	30分	30分	30分	30分	30分~
	0~60分	60~90分	90~120分	120~150分	150~180分	180分~
流量	44 mL/h	56 mL/h	69 mL/h	81 mL/h	94 mL/h	100 mL/h
予定量	44 mL	72 mL	106 mL	146 mL	193 mL	250 mL

2回目以降

	60分	30分	30分	30分~
	0~60分	60~90分	90~120分	120分~
流量	44 mL/h	69 mL/h	94 mL/h	100 mL/h
予定量	44 mL	78 mL	125 mL	250 mL

インフュージョンリアクション発現後の再開時

	30分	30分	30分	30分	30分	30分	30分	30分~
	0~30分	30~60分	60~90分	90~120分	120~150分	150~180分	180~210分	210分~
流量	22 mL/h	34 mL/h	47 mL/h	59 mL/h	72 mL/h	84 mL/h	97 mL/h	100 mL/h
予定量	11 mL	28 mL	51 mL	80 mL	116 mL	158 mL	206 mL	250 mL

化学療法計画書

治療法名	Isa単剤		
コース数		コース	(2コース目以降)
腫瘍種	多発性骨髄腫		
患者名		♂	年齢
患者ID		生年月日	
部署		主治医	血液内科 Dr

開始予定日

2020年1月1日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	15	22	29	...
	予定日	1/1							1/8		1/15		1/22		1/29	
サークリサ	20 mg/kg	↓									↓				↓	
デキサート	6.6 mg	↓									↓				↓	
アセリオ	1000 mg	↓									↓				↓	
ポラミン	1 A	↓									↓				↓	
ファモチジン	20 mg/A	↓									↓				↓	
治療開始日	年 月 日				治療間隔	4週間			予定コース	コース						
身長	150 cm	体重	50 kg		BSA	1.40 m ²										
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	49 mL/min													

★infusion reactionに注意★

フィルターを通す

Day 1, 15

- 1)アセリオ 1000 mg 15分
↓ 2)同時にポラミン1A 側注
- 3)生理食塩液 50 mL
ファモチジン 1 A
デキサート6.6mg 1 V 15分
↓
- 4)生理食塩液 50 mL 30分
↓
- 5)生理食塩液 250 mL (総量250mL)
サークリサ 1000 mg 投与時間は
下記参照
↓ フラッシュ
- 6)生理食塩液 50 mL

投与開始基準

- ・PS 0-2
- ・1つ以上の標準的な治療が無効又は治療後の再発

サークリサ休薬基準

- ・G3又は4の好中球減少
→ G2に回復するまで休薬

サークリサ 2コース目以降

	60分	30分	30分	30分
	0~60分	60~90分	90~120分	120分~
流量	44 mL/h	69 mL/h	94 mL/h	100 mL/h
予定量	44 mL	78 mL	125 mL	250 mL

※ 最初の4回投与において infusion reactionが認められなかった場合は、以後の前投薬の必要性を再検討可能

インフュージョンリアクション発現後の再開時

	30分	30分	30分	30分	30分	30分	30分	30分
	0~30分	30~60分	60~90分	90~120分	120~150分	150~180分	180~210分	210分~
流量	22 mL/h	34 mL/h	47 mL/h	59 mL/h	72 mL/h	84 mL/h	97 mL/h	100 mL/h
予定量	11 mL	28 mL	51 mL	80 mL	116 mL	158 mL	206 mL	250 mL

化学療法計画書

治療法名		Kd (週1回)	
コース数		1	コース
腫瘍種 再発または難治性の多発性骨髄腫			
患者名		性別	年齢
患者ID		生年月日	
部署		主治医	血液内科 Dr
開始予定日			
治療内容	Day	1 2 3 4 5 6 7	8 15 22 . . . 29
	予定日	1/0	1/7 1/14 1/21
カイプロリス	20 mg/m ²	↓	
カイプロリス	70 mg/m ²		↓
デキサート	40 mg	↓	↓
レナデックス	40 mg/body		↓
治療開始日		治療間隔	4週毎 予定
身長	150 cm	体重	50 kg BSA 1.40 m ²
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	49 mL/min

Day 22
レナデックス40mg (朝) 内服

投与開始基準
・ PS 0-2
・ 1レジメン以上の治療歴あり
・ CCr ≥ 15mL/min
・ 左室駆出率40%以上
体表面積はMAX : 2.2m ² まで

カイプロリス休薬基準
G4の血小板減少、リンパ球減少、貧血
G3以上の好中球減少
G3以上の非血液毒性 (悪心・嘔吐、下痢、疲労感除く)
カイプロリス減量基準
70mg/m ² → 56mg/m ² → 45mg/m ² → 36mg/m ²

デキサメタゾン休薬基準
G3以上の消化器毒性、高血糖
G2以上の錯乱・気分低下
G3以上の因果関係が否定できない非血液毒性
デキサメタゾン減量基準
G3以上の浮腫
G2以上筋力低下
デキサメタゾン用量調節基準
40mg → 20mg → 12mg → 中止

★infusion reactionに注意★

Day 1	
1) 生理食塩液 50mL	↓
デキサート6.6mg 6V	30分

2) 生理食塩液 50mL	フラッシュ
↓	注射用水で2mg/mLの濃度にする
3) 5%ブドウ糖 50mL	(50mL抜く)
カイプロリス 28mg	30分
↓	
4) 生理食塩液 50mL	フラッシュ

Day 8, 15	
1) 生理食塩液 50mL	↓
デキサート6.6mg 6V	30分

2) 生理食塩液 50mL	フラッシュ
↓	注射用水で2mg/mLの濃度にする
3) 5%ブドウ糖 50mL	(50mL抜く)
カイプロリス 98mg	30分
↓	
4) 生理食塩液 50mL	フラッシュ

化学療法計画書

治療法名	Kd (週1回)			
コース数	コース (2コース目以降)			
腫瘍種	再発または難治性の多発性骨髄腫			
患者名		性別	年齢	
患者ID	生年月日			
部署		主治医	血液内科	Dr

開始予定日															
治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	15	22	29
	予定日	1/0							1/7				1/14		1/21
カイプロリス	70 mg/m ²	↓							↓				↓		
デキサート	40 mg	↓							↓				↓		
レナデックス	40 mg/body														↓

治療開始日		治療間隔	4週毎	予定
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	49 mL/min	1.40 m ²

★infusion reactionに注意★

Day 22
レナデックス40mg (朝) 内服

投与開始基準
・ PS 0-2
・ 1レジメン以上の治療歴あり
・ CCr ≥ 15mL/min
・ 左室駆出率40%以上
体表面積はMAX : 2.2m ² まで

カイプロリス休薬基準
G4の血小板減少、リンパ球減少、貧血
G3以上の好中球減少
G3以上の非血液毒性 (悪心・嘔吐、下痢、疲労感除く)
カイプロリス減量基準
70mg/m ² →56mg/m ² →45mg/m ² →36mg/m ²

デキサメタゾン休薬基準
G3以上の消化器毒性、高血糖
G2以上の錯乱・気分低下
G3以上の因果関係が否定できない非血液毒性
デキサメタゾン減量基準
G3以上の浮腫
G2以上筋力低下
デキサメタゾン用量調節基準
40mg→20mg→12mg→中止

Day 1, 8, 15

1) 生理食塩液	50mL	
デキサート6.6mg	6V	30分
↓		
2) 生理食塩液	50mL	フラッシュ
↓ 注射用水で2mg/mLの濃度にする		
3) 5%ブドウ糖	50mL	(50mL抜く)
カイプロリス	98mg	30分
↓		
4) 生理食塩液	50mL	フラッシュ

化学療法計画書

治療法名	Kd (週2回)			
コース数	1	コース		
腫瘍種	再発または難治性の多発性骨髄腫			
患者名		性別	年齢	
患者ID		生年月日		
部署		主治医	血液内科	Dr

開始予定日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	...	15	16	...	22	23	...	29
	予定日	1/0						1/7				1/14				1/21		
カイプロリス	20 mg/m ²	↓↓						↓↓				↓↓						
カイプロリス	56 mg/m ²							↓↓				↓↓						
デキサート	20 mg	↓↓						↓↓				↓↓						
レナデックス	20 mg/body															↓↓		
治療開始日									治療間隔	4週毎	予定							
身長	150 cm	体重	50 kg		BSA	1.40 m ²												
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA			49 mL/min													

Day 22, 23

レナデックス20mg (朝) 内服

投与開始基準

- ・ PS 0-2
 - ・ 1レジメン以上の治療歴あり
 - ・ CCr ≥ 15mL/min
 - ・ 左室駆出率40%以上
- 体表面積はMAX : 2.2m²まで

カイプロリス休薬基準

- G4の血小板減少、リンパ球減少、貧血
- G3以上の好中球減少
- G3以上の非血液毒性 (悪心・嘔吐、下痢、疲労感除く)

カイプロリス減量基準

56mg/m² → 45mg/m² → 36mg/m² → 27mg/m²

デキサメタゾン休薬基準

- G3以上の消化器毒性、高血糖
- G2以上の錯乱・気分低下
- G3以上の因果関係が否定できない非血液毒性

デキサメタゾン減量基準

- G3以上の浮腫
- G2以上筋力低下

デキサメタゾン用量調節基準

20mg → 12mg → 8mg → 中止

★infusion reactionに注意★

Day 1, 2

- 1) 生理食塩液 50mL
デキサート6.6mg 3V 30分
 ↓
 2) 生理食塩液 50mL フラッシュ
 ↓ 注射用水で2mg/mLの濃度にする
 3) 5%ブドウ糖 50mL (50mL抜く)
カイプロリス 28mg 30分
 ↓
 4) 生理食塩液 50mL フラッシュ

Day 8, 9, 15, 16

- 1) 生理食塩液 50mL
デキサート6.6mg 3V 30分
 ↓
 2) 生理食塩液 50mL フラッシュ
 ↓ 注射用水で2mg/mLの濃度にする
 3) 5%ブドウ糖 50mL (50mL抜く)
カイプロリス 78mg 30分
 ↓
 4) 生理食塩液 50mL フラッシュ

化学療法計画書

治療法名	Kd (週2回)																
コース数		コース (2コース目以降)															
腫瘍種	再発または難治性の多発性骨髄腫																
患者名		性別	年齢														
患者ID		生年月日															
部署		主治医	血液内科		Dr												
開始予定日																	
治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	15	16	22	23	29
	予定日	1/0							1/7			1/14			1/21		
カイプロリス	56 mg/m ²	↓↓							↓↓			↓↓					
デキサート	20 mg	↓↓							↓↓			↓↓					
レナデックス	20 mg/body														↓↓		
治療開始日		治療間隔					4週毎	予定									
身長	150 cm	体重	50 kg		BSA	1.40 m ²											
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	49 mL/min														

Day 22, 23
レナデックス20mg (朝) 内服

投与開始基準
・ PS 0-2
・ 1レジメン以上の治療歴あり
・ CCr ≥ 15mL/min
・ 左室駆出率40%以上
体表面積はMAX : 2.2m ² まで

カイプロリス休薬基準
G4の血小板減少、リンパ球減少、貧血
G3以上の好中球減少
G3以上の非血液毒性 (悪心・嘔吐、下痢、疲労感除く)
カイプロリス減量基準
56mg/m ² →45mg/m ² →36mg/m ² →27mg/m ²

デキサメタゾン休薬基準
G3以上の消化器毒性、高血糖
G2以上の錯乱・気分低下
G3以上の因果関係が否定できない非血液毒性
デキサメタゾン減量基準
G3以上の浮腫
G2以上筋力低下
デキサメタゾン用量調節基準
20mg→12mg→8mg→中止

★infusion reactionに注意★

Day 1, 2, 8, 9, 15, 16

1) 生理食塩液 50mL
デキサート6.6mg 3V 30分



2) 生理食塩液 50mL フラッシュ
↓ 注射用水で2mg/mLの濃度にする
3) 5%ブドウ糖 50mL (50mL抜く)
カイプロリス 78mg 30分



4) 生理食塩液 50mL フラッシュ

化学療法計画書

治療法名	K-Rd		
コース数	1	コース	
腫瘍種	再発または難治性の多発性骨髄腫		
患者名		性別	年齢
患者ID		生年月日	
部署		主治医	血液内科 Dr
開始予定日			
治療内容	Day	1 2 3 4 5 6 7 8 9 15 16 22 . . . 29	
	予定日	1/0	1/7 1/14 1/21
カiproリス	20 mg/m ²	↓↓	
カiproリス	27 mg/m ²		↓↓
レブラミド	25 mg/body	→夕食後	
デキサート	40 mg	↓	↓
レナデックス	40 mg/body		↓
デキサート	6.6 mg	↓	↓
治療開始日		治療間隔	4週毎 予定
身長	150 cm	体重	50 kg BSA 1.40 m ²
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	49 mL/min

レブラミドはday1-21 (夕) 内服

Day 22
レナデックス40mg (朝) 内服

投与開始基準
 ・ PS 0-2
 ・ 1レジメン以上の治療歴あり
 ・ CCr ≥ 15mL/min
 体表面積はMAX : 2.2m²まで

カiproリス休薬基準
 G4の血小板減少、リン⁺球減少、貧血
 G3以上の好中球減少
 G3以上の非血液毒性
 (悪心・嘔吐、下痢、疲労感除く)
 カiproリス減量基準
 27→20mg 20→15mg 15mg→投与中止

レブラミド用量調節基準
 25→15→10→5mg
 目安：血小板数3万未満 好中球750未満
 回復：1段階減量、繰り返しは2段階減量
 Ccrが30mL/min以上50mL/min未満→10mg
 Ccrが15mL/min以上30mL/min未満→中断
 顕著な減少があり→15mg/48時間
 G3以上の非血液毒性
 ・ 被疑薬と考えられた場合は中断
 ・ G2以下または投与前に戻る→1段階減量

デキサート用量調節基準
 40mg→20mg→12mg→中止
 デキサート休薬基準
 G3以上の消化器毒性、高血糖
 G2以上の錯乱・気分低下
 G3以上の因果関係が否定できない非血液毒性
 デキサート減量基準
 G3以上の浮腫
 G2以上筋力低下

★infusion reactionに注意★

Day 1	
1) 生理食塩液 50mL	
デキサート6.6mg 6V	30分
↓	
2) 生理食塩液 50mL	フラッシュ
↓ 注射用水で2mg/mLの濃度にする	
3) 5%ブドウ糖 50mL (50mL抜く)	
カiproリス 28mg	10分
↓	
4) 生理食塩液 50ml	フラッシュ
Day 2	
1) 生理食塩液 50mL	
デキサート6.6mg 1V	30分
↓	
2) 生理食塩液 50mL	フラッシュ
↓ 注射用水で2mg/mLの濃度にする	
3) 5%ブドウ糖 50mL (50mL抜く)	
カiproリス 28mg	10分
↓	
4) 生理食塩液 50ml	フラッシュ
Day 8, 15	
1) 生理食塩液 50mL	
デキサート6.6mg 6V	30分
↓	
2) 生理食塩液 50mL	フラッシュ
↓ 注射用水で2mg/mLの濃度にする	
3) 5%ブドウ糖 50mL (50mL抜く)	
カiproリス 38mg	10分
↓	
4) 生理食塩液 50mL	フラッシュ
Day 9, 16	
1) 生理食塩液 50mL	
デキサート6.6mg 1V	30分
↓	
2) 生理食塩液 50mL	フラッシュ
↓ 注射用水で2mg/mLの濃度にする	
3) 5%ブドウ糖 50mL (50mL抜く)	
カiproリス 38mg	10分
↓	
4) 生理食塩液 50mL	フラッシュ

化学療法計画書

治療法名		K-Rd	
コース数		コース (13コース目以降)	
腫瘍種 再発または難治性の多発性骨髄腫			
患者名		性別	年齢
患者ID		生年月日	
部署		主治医	血液内科 Dr
開始予定日			
治療内容	Day	1 2 3 4 5 6 7 8 15 16 22 29	
	予定日	1/0 1/7 1/14 1/21	
カイプロリス	27 mg/m ²	↓↓	↓↓
レブラミド	25 mg/body	→ 夕食後	
デキサート	40 mg	↓	↓
レナデックス	40 mg/body	↓	↓
デキサート	6.6 mg	↓	↓
治療開始日		治療間隔	4週毎 予定
身長	150 cm	体重	50 kg
eGFR	60 mL/min	BSA	1.40 m ²
		eGFR/BSA	49 mL/min

レブラミドはday1-21 (夕) 内服

Day 8, 22

レナデックス40mg (朝) 内服

投与開始基準

- ・ PS 0-2
- ・ 1レジメン以上の治療歴あり
- ・ CCr ≥ 15mL/min

体表面積はMAX : 2.2m²まで

カイプロリス休薬基準

G4の血小板減少、リンパ球減少、貧血
G3以上の好中球減少
G3以上の非血液毒性
(悪心・嘔吐、下痢、疲労感除く)

カイプロリス減量基準

27→20mg 20→15mg 15mg→投与中止

レブラミド用量調節基準

25→15→10→5mg
目安 : 血小板数3万未満 好中球750未満
回復 : 1段階減量、繰り返しは2段階減量
CCrが30mL/min以上50mL/min未満→10mg
CCrが15mL/min以上30mL/min未満→中断
顕著な減少があり→15mg/48時間
G3以上の非血液毒性
・ 被疑薬と考えられた場合は中断
・ G2以下または投与前に戻る→1段階減量

デキサート用量調節基準

40mg→20mg→12mg→中止

デキサート休薬基準

G3以上の消化器毒性、高血糖
G2以上の錯乱・気分低下
G3以上の因果関係が否定できない非血液毒性

デキサート減量基準

G3以上の浮腫
G2以上筋力低下

★infusion reactionに注意★

Day 1, 15

- 1) 生理食塩液 50mL
デキサート6.6mg 6V 30分
- ↓
- 2) 生理食塩液 50mL フラッシュ
注射用水で2mg/mLの濃度にする
- ↓
- 3) 5%ブドウ糖 50mL (50mL抜く)
カイプロリス 38mg 10分
- ↓
- 4) 生理食塩液 50mL フラッシュ

Day 2, 16

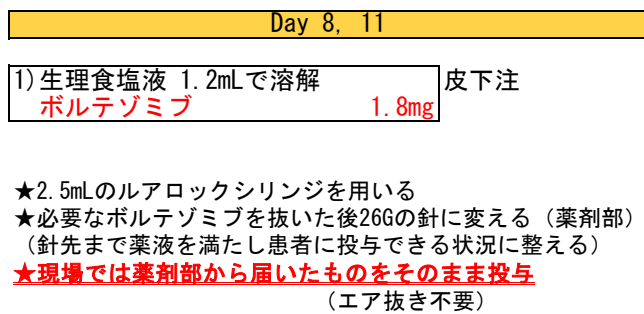
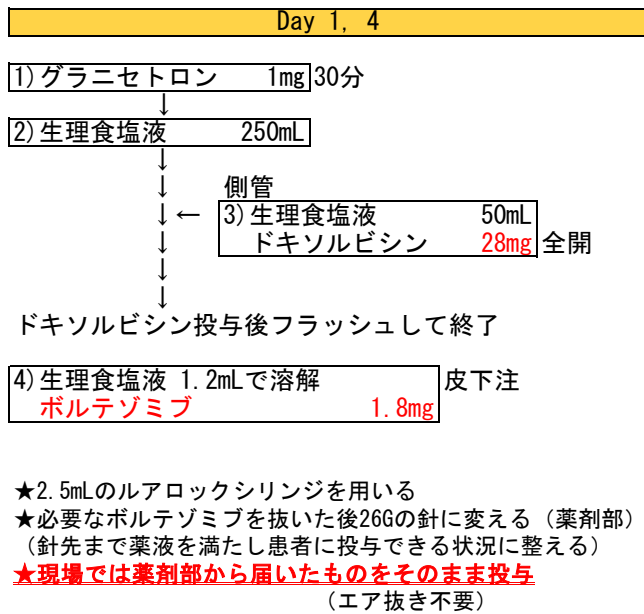
- 1) 生理食塩液 50mL
デキサート6.6mg 1V 30分
- ↓
- 2) 生理食塩液 50mL フラッシュ
注射用水で2mg/mLの濃度にする
- ↓
- 3) 5%ブドウ糖 50mL (50mL抜く)
カイプロリス 38mg 10分
- ↓
- 4) 生理食塩液 50mL フラッシュ

化学療法計画書

治療法名		Pad (ボルテゾミブ+ドキシソルピシン+デキサメタゾン)																
コース数		コース																
腫瘍種		多発性骨髄腫																
患者名				性別		年齢												
患者ID		生年月日																
部署		主治医		血液内科		Dr												
開始予定日																		
治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	...	11	...	15			
	予定日	1/0			1/3				1/7		1/10				1/14			2/7
ボルテゾミブ	1.3 mg/m ²				↓	↓			(↓)		(↓)							
ドキシソルピシン	20 mg/m ²				↓	↓												
デカドロン	40 mg (内服)				↓↓↓	↓↓↓												
グラニセトロン	1 mg				↓	↓												
治療開始日				治療間隔	6週毎			予定										
身長	150 cm			体重	50 kg			BSA	1.40 m ²									
eGFR	60 mL/min			eGFR/BSA	49 mL/min													

投与開始基準
<ul style="list-style-type: none"> ・ PS 0-2 ・ 好中球>1000 ・ Hb>8.0 ・ Plt>7.5万 ・ AST/ALT<2.5xULN ・ T-Bil<1.5xULN ・ Cr<1.5xULN ・ 間質性肺炎がない ・ 心機能正常 ・ 日常生活に支障のある神経毒性なし
減量基準 (次コース以降)
<ul style="list-style-type: none"> ・ G3以上の非血液毒性 ・ G4の血液毒性 →ボルテゾミブ1.3→1.0mg/m²→0.7mg/m² ・ 神経毒性については <ul style="list-style-type: none"> G2→1レベル減 G3→2レベル減で開始 (G1に回復後)

★デカドロンはday1の朝~4日間
(day1はできるだけ午前早めに服用)



化学療法計画書

治療法名		ボルテゾミブ標準（皮下注）															
コース数		コース															
腫瘍種		多発性骨髄腫															
患者名		性別		年齢													
患者ID		生年月日															
部署		主治医		血内		Dr											
開始予定日																	
治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	...	11	...	15	...	22	...	
	予定日	1/0			1/3				1/7		1/10		1/14		1/21		
ボルテゾミブ	1.3 mg/m ²	↓			↓				↓		↓				↓	↓	
治療開始日		治療間隔		3週毎		予定コース数		コース									
身長	150 cm	体重	50 kg		BSA	1.40 m ²											
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	49 mL/min														

Day 1, 4, 8, 11

投与開始基準	
<ul style="list-style-type: none"> ・ PS 0-2 ・ 好中球>1000 ・ Hb>8.0 ・ Plt>7.5万 ・ AST/ALT<2.5xULN ・ T-Bil<1.5xULN ・ Cr<1.5xULN ・ 間質性肺炎がない ・ 心機能正常 ・ 日常生活に支障のある神経毒性なし 	
減量基準	
<ul style="list-style-type: none"> ・ G3以上の非血液毒性 ・ G4の血液毒性 →G2以下に回復まで休薬し1レベル減 <ul style="list-style-type: none"> ・ 神経毒性については <ul style="list-style-type: none"> 疼痛を伴うG1、 G2（日常生活支障なし） <ul style="list-style-type: none"> →1レベル減 G2/3（日常生活支障あり） <ul style="list-style-type: none"> →回復まで休薬し回復すれば 0.7mg/m²週1回で再開 G4 →投与中止 	
副作用発現時の投与量	減量の目安
1.3mg/m ²	1.0mg/m ²
1.0mg/m ²	0.7mg/m ²
0.7mg/m ²	投与中止

1) 生理食塩液 1.2mLで溶解 皮下注
ボルテゾミブ 1.8mg

- ★2.5mLのルアロックシリンジを用いる
- ★必要なボルテゾミブを抜いた後26Gの針に変える（薬剤部）
 （針先まで薬液を満たし患者に投与できる状況に整える）
- ★現場では薬剤部から届いたものをそのまま投与
 （エア抜き不要）

化学療法計画書

治療法名		ボルテゾミブ継続（皮下注）									
コース数		コース									
腫瘍種		多発性骨髄腫									
患者名							性別		年齢		
患者ID		生年月日									
部署		主治医					血内			Dr	
開始予定日											
治療内容		Day 1 2 3 4 5 6 7 8 15 22 29 36									
予定日		1/0 1/7 1/14 1/21 1/28 2/4									
ボルテゾミブ 1.3 mg/m ²		↓ ↓ ↓ ↓ ↓									
治療開始日		治療間隔		5週毎		予定コース数				8 コース	
身長 150 cm		体重 50 kg		BSA 1.40 m ²							
eGFR 60 mL/min		eGFR/BSA 49 mL/min									

Day 1, 8, 15, 22

投与開始基準	
<ul style="list-style-type: none"> ・ PS 0-2 ・ 好中球>1000 ・ Hb>8.0 ・ Plt>7.5万 ・ AST/ALT<2.5xULN ・ T-Bil<1.5xULN ・ Cr<1.5xULN ・ 間質性肺炎がない ・ 心機能正常 ・ 日常生活に支障のある神経毒性なし 	
減量基準	
<ul style="list-style-type: none"> ・ G3以上の非血液毒性 ・ G4の血液毒性 →G2以下に回復まで休薬し1レベル減 ・ 神経毒性については <ul style="list-style-type: none"> 疼痛を伴うG1、 G2（日常生活支障なし） →1レベル減 G2/3（日常生活支障あり） →回復まで休薬し回復すれば 0.7mg/m²週1回で再開 G4 →投与中止 	
副作用発現時の投与量	減量の目安
1.3mg/m ²	1.0mg/m ²
1.0mg/m ²	0.7mg/m ²
0.7mg/m ²	投与中止

1) 生理食塩液 1.2mLで溶解 皮下注
ボルテゾミブ 1.8mg

- ★2.5mLのルアロックシリンジを用いる
- ★必要なボルテゾミブを抜いた後26Gの針に変える（薬剤部）
（針先まで薬液を満たし患者に投与できる状況に整える）
- ★現場では薬剤部から届いたものをそのまま投与
（エア抜き不要）